令和2年度第7回御船町議会定例会（9月会議） 議事日程（第4号）

令和2年9月16日

午前10時00分開会

1 議事日程

第1 認定第1号 令和元年度御船町一般会計歳入歳出決算について

2 出席議員は次のとおりである（13人）

1 番 中 城 峯 雄 君	2 番 井 藤 はづき 君
3 番 宮 川 一 幸 君	4 番 福 本 悟 君
5 番 田 上 英 司 君	6 番 増 田 安 至 君
7 番 森 田 優 二 君	8 番 岩 永 宏 介 君
9 番 福 永 啓 君	10 番 田 上 忍 君
11 番 藤 川 博 和 君	13 番 井 本 昭 光 君
14 番 池 田 浩 二 君	

3 欠席議員（1人）

12 番 清 水 聖 君

4 職務のため議場に参加した事務局職員の職氏名（1人）

事務局長 本田 隆裕 君

5 説明のため出席した者の職氏名（19人）

町 長 藤 木 正 幸 君	副 町 長 野 中 眞 治 君
教 育 長 本 田 恵 典 君	総 務 課 長 藤 野 浩 之 君
企 画 財 政 課 長 坂 本 幸 喜 君	税 務 課 長 畑 野 英 樹 君
町 民 保 険 課 長 宮 崎 尚 文 君	福 祉 課 長 西 橋 静 香 君
こ ども 未 来 課 長 田 中 智 徳 君	復 興 課 長 島 田 誠 也 君
健 康 づ くり 支 援 課 長 作 田 豊 明 君	農 業 振 興 課 長 井 上 辰 弥 君
商 工 観 光 課 長 鶴 野 修 一 君	建 設 課 長 野 口 壮 一 君

環境保全課長 緒方良成君 会計管理者 上村清美君
学校教育課長 西本和美君 社会教育課長 沖 勝久君
監査委員 吉川 勲君

~~~~~ ○ ~~~~~

午前10時00分 開 会

○議長（池田浩二君） ただ今から、本日の会議を開きます。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第1 認定第1号 令和元年度御船町一般会計歳入歳出決算について

○議長（池田浩二君） 日程第1、認定第1号、「令和元年度御船町一般会計歳入歳出決算について」を議題とします。

審議に先立ち、藤野総務課長の発言を許します。

○総務課長（藤野浩之君） 先日、田上英司議員からの御質問で答弁ができてない部分がありましたので、本日、答弁させていただきます。

一般会計の歳入の中で、67ページですけれども、雑入の中の消防団事務費11万750円ということで、この説明になります。これは、消防団員の共済であったり消防年金の事務を町で行っております。それに関する事務費及び返礼金ということで、財団法人の熊本県消防協会から町へ入ってくるものであります。

○議長（池田浩二君） 一般会計の歳出について、担当課長の説明を、款、項、目の順に求めます。1款、議会費、2款、総務費の説明を求めます。

○総務課長（藤野浩之君） 御説明をいたします。

まず議会費になります。決算書の78、79ページをお開きください。1款、議会費。1項、議会費。1目、議会費です。支出済額は9,631万3,716円です。主なものは1節、報酬から、4節、共済費までの議員14名分、また職員3名分の人件費となります。このほか、11節、需用費の議会広報あおぞら21の印刷製本費として184万2,480円です。81ページをお願いいたします。13節、委託料です。議会会議録作成委託料128万9,483円、それと、先進地視察研修業務委託料149万4,000円です。それと同じく、19節、負担金補助及び交付金であります。これは、政務活動費交付金238万162円となっております。

以上が、議会費です。

続きまして、80ページをお願いいたします。2款、総務費。1項、総務管理費。1目、一般管理費です。支出済額は3億5,860万4,138円です。主なものは、1節、報酬で嘱託員報酬2,598万4,800円となります。次のページをお願いいたします。職員の給与、職員手当、共済費等になっております。9節、旅費。これにつきましては町長の普通旅費119万6,251円、それと中長期的支援に係る普通旅費ということで、次のページをお願いいたします。181万3,904円となっております。同じく85ページで、13節、委託料につきましては、主なものとして会計年度任用職員制度移行に係るシステムの導入ということで、281万8,200円となります。次のページをお願いいたします。19節、負担金補助及び交付金、主なものとしては、上益城広域連合負担金800万1,000円、それと、熊本地震に係る中長期的な人的支援に係る負担金ということで、2,642万4,026円となります。

2目、文書広報費。支出済額が1,880万6,595円。主なものは、11節、需用費の中の広報印刷製本費559万6,435円、これは広報みふねの発行に係る費用となります。それと追録代、これは条例関係になります。521万746円です。次のページをお願いいたします。12節、役務費は後納郵便料ということで390万3,486円となります。それと、14節、使用料及び賃借料ということで、これは例規検索システム使用料が152万7,984円となります。

続きまして、3目、財産管理費。支出済額11億6,646万4,997円です。主なものは、需用費になります。電気料が1,063万536円です。それと、12節、役務費の通信運搬費が334万7,828円、そのほか公共施設の建物共済が600万8,349円となります。次のページをお願いいたします。13節、委託料です。主なものは、庁舎清掃管理費委託で873万1,900円。そのほか、下のほうになりますけれども固定資産台帳整備支援業務委託料484万円、庁舎等個別施設計画作成支援業務委託料341万円、それとエレベーター等の新築工事に係る設計委託料ということで、889万9,000円となります。14節、使用料及び賃借料。これはコピー機の使用料として377万2,763円、それと集中管理公用車のリース料が252万6,812円となります。次のページをお願いいたします。15節、工事請負費、これは監査室等の工事をやっておりますので、その工事費となります。239万7,796円です。25節、積立金、これは各種積立金となりますので、主なものは財政調整積立金2億6,006万8,000円、それと減債基金積立金1億4,600万3,556円、そのほかふるさと応援積立金6億7,872万2,524円となります。

○企画財政課長（坂本幸喜君） 同じく93ページになります。4目、企画費。支出済額3億2,096万269円です。主なものは、8節、報償費で、ふるさと納税寄附金に対するお礼の返

礼品として1億5,292万2,535円、95ページをお願いします。12節、役務費のふるさと納税返礼品送料等として3,166万2,882円、それに、ふるさと納税ポータルサイト利用手数料として4,284万4,650円、それに、13節、委託料でふるさと納税支援サービス委託料4,507万6,664円になります。

97ページをお願いします。4目、企画費繰越明許。支出済額396万2,574円です。第6期総合計画策定業務委託料です。

5目、地域振興費。支出済額4,517万9,917円です。主なものは、8節、報償費の地域おこし協力隊謝金10名分1,693万2,000円。99ページをお願いします。19節、負担金補助及び交付金の地域おこし協力隊活動補助金1,611万5,571円になります。

以上で企画費の説明を終わります。

○総務課長（藤野浩之君） 同じく98、99ページになります。6目、交通安全対策費。支出済額1,285万8,128円です。まず、報酬であります。交通指導員報酬157万6,350円となります。次のページをお願いいたします。主なものとしまして、11節、需用費の中の防犯灯及び街路灯の電気料が690万7,072円、それとカーブミラー等の修繕費が251万8,123円となります。

続きまして、7目、電子計算費。支出済額8,356万6,520円となります。次のページをお願いいたします。まず、主なものとしまして、13節、委託料です。これは各種システムに関する委託料ということで、まず総合行政システムの保守委託ということで1,214万2,033円、それと電算システムの保守関係で485万2,005円です。それと、14節、使用料及び賃借料、これも電算にかかわるものです。まず、総合行政に係るシステムソフトの使用料等で2,653万1,000円、また総合行政システムリース料、これはパソコンの端末ですけれども、1,087万9,716円となります。19節、負担金補助及び交付金です。主なものは、社会保障・税番号制度システム整備の中間サーバーに関する負担金ということで531万3,000円となります。それと繰出金です。情報特別会計への繰出金ということで、創意工夫分が537万1,000円、それと通常の繰出金ということで275万4,000円となります。

8目、職員厚生費。支出済額439万7,625円です。主なものは、13節、委託料。これは職員の健康診断に係るものです。345万9,750円となります。

9目、諸費。支出済額125万2,776円です。主なものは、次のページをお願いいたします。19節、負担金補助及び交付金ということで、御船地区防犯協会への負担金として111万7,000円を支出しております。

○企画財政課長（坂本幸喜君） 続きまして、10目です。企業誘致費。支出済額686万7,762円です。主なものは、13節、委託料の損害賠償請求訴訟事件弁護士委託料375万1,693円、企業誘致アドバイザー支援業務委託料176万円になります。

以上、企業誘致費の説明を終わります。

○会計管理者（上村清美君） 続きまして、20目、会計管理費について説明します。支出済額543万9,037円です。107ページをお願いいたします。主なものは、12節、役務費、納付書読込手数料及び窓口収納手数料111万8,870円、13節、委託料で指定金融機関肥後銀行御船町役場内派出所委託料271万1,920円になります。

○税務課長（畑野英樹君） 同じく106、107ページをお願いいたします。2項、徴税費。1目、税務総務費。支出済額9,675万2,123円です。主なものは、2、3、4節の職員人件費と、109ページをお願いいたします。12節、役務費の通信運搬費、これは納付書等の後納郵便料金として421万5,205円、13節、委託料、固定資産課税土地評価業務委託料の990万3,600円です。

2目、賦課徴収費。支出済額1,467万632円です。主なものは、12節、役務費の通信運搬費、督促状の後納郵便料金として78万2,352円。111ページをお願いいたします。23節、償還金利子及び割引料、町税還付金としまして1,212万7,997円です。

以上で、徴税費の説明を終わります。

○町民保険課長（宮崎尚文君） 同じく110、111ページになります。3項、1目、戸籍住民基本台帳費です。支出済額3,452万4,870円です。112、113ページをお願いいたします。人件費のほか、主に19節、負担金補助及び交付金の通知カード、個人番号カード関連事務委任に係る負担金231万5,800円となります。

○総務課長（藤野浩之君） 同じく112ページになります。4項、選挙費です。1目、選挙管理委員会費。支出済額582万6,949円です。これは、職員の人件費となります。

2目、選挙啓発費。支出済額が5,451円です。

次のページをお願いいたします。3目、県議会議員一般選挙費。支出済額527万3,719円。主なものは、報酬で投開票管理者及び立会人等の報酬で38万5,400円となります。

4目、町長・町議会議員一般選挙費。支出済額が786万7,749円です。主なものは、報酬で、投開票管理者及び立会人への報酬で50万4,300円、それと需用費として消耗品及び印刷製本費等を支出しております。それと12節、役務費で通信運搬費127万9,704円です。

次のページをお願いします。5目、県知事選挙費。支出済額860万2,370円です。これも主なものは報酬であります。投票管理者及び立会人の報酬、それと職員手当です。これは、時間外手当451万9,432円となります。それと、13節、委託料につきましては、ポスター掲示板設置の維持及び撤去作業委託料ということで、133万1,000円となります。

7目、参議院議員選挙費です。支出済額963万8,501円です。次のページをお願いいたします。主なものは、同じく報酬で、投開票の管理者及び立会人への報酬、それと職員手当ということで、時間外勤務手当と13節、委託料、これもポスター掲示板の制作・設置・維持及び撤去ということで、125万2,800円であります。

○企画財政課長（坂本幸喜君） 続いて、5項、統計調査費。1目、統計調査総務費。支出済額4万527円です。主なものは、消耗品と負担金になります。

120ページをお願いします。2目、学校基本調査費。支出済額8,091円です。消耗品となります。

3目、工業統計調査費。支出済額7万6,511円です。調査員2名分の報酬と消耗品になります。

6目、農林業センサス費。支出済額186万831円です。指導員3名、調査員43人の報酬と担当職員の時間外手当などです。

13目、国勢調査区設定費。支出済額12万1,600円です。消耗品です。

21目、経済センサス調査区設定費。支出済額4,984円です。消耗品となります。

23目、経済センサス基礎調査費。支出済額29万8,173円です。調査員1名分の報酬と消耗品となります。

以上で、統計調査の説明を終わります。

○総務課長（藤野浩之君） 続きまして、122、123ページをお願いいたします。監査費になります。6項、監査委員費。1目、監査委員費。支出済額171万255円。主なものは監査委員報酬です。96万7,000円であります。

以上で、1款、議会費、2款、総務費の説明を終わります。

○議長（池田浩二君） 質疑を行います。1款、議会費、2款、総務費について、質疑はありますか。

○1番（中城峯雄君） 2点について、質疑をいたします。1点目が93ページ、ふるさと納税については、昨日の議会で議員から賞賛の声があがってございましたけれども、この中で、

ふるさと納税お礼が1億5,200万円計上されていますが、寄附金額は6億6,800万円の割合でいきますと22.7%になります。昨年国は返礼品については納税額の30%以内で、しかも地場産品という制度を導入しましたがけれども、この返礼品の率が少ない中で6億6,800万円上げられたのでしょうか。

○企画財政課長（坂本幸喜君） お答えします。

今言われましたように、決算書の中で返礼率が22.7%となった主な要因としましては、まず定期便を導入したことです。返礼品の支払いは出荷ベースで行いますので、令和元年度の定期便で寄附金をされた方は、寄附金は令和元年度の収入となります。令和2年度4月以降に返礼品があるときは、令和2年度の予算で支出するため、令和元年度の返礼品率は下がったということになります。

○1番（中城峯雄君） このふるさと納税については、先日の自民党の総裁選でも菅さんが「私が導入しました」ということで、非常に地方にとってはありがたい制度です。決算書を見てみますと、このふるさと納税をふるさと応援基金に積み立てて、そしていろいろな事業にそれを活用されております。6億6,800万円集まりましたけれども、実収入といえますか、返礼品や手数料等、ポータルサイトの利用料もありますけれども、そういったものを差し引いて実収入はどれぐらいで、約何%の実入りがあるのでしょうか。

○企画財政課長（坂本幸喜君） お答えします。

まず、寄附額6億6,800万円に対しまして、返礼品代を含む経費、送料とかいろいろ含みます。これが合計で2億9,430万円になります。差し引き町の実質収支、収入は3億7,400万円になります。

○1番（中城峯雄君） この3億7,000万円、しかも返礼品は地場の経済の活性化につながるということで、非常に地方にとってはありがたい制度です。さらに昨日の発言では今年7億円、まだ上げますと、非常に心強い答弁もいただきましたので、大いに期待をしております。

この返礼品の中で、これは先日お聞きしたときに、何がこれだけ上がった、人気商品は何かと言ったら、その中の1つに米というのがありました。米はどこにでもあるものだけど、御船産米の米、上益城のJAで調達していますということですがけれども、この米は御船産米の米のどこに人気の秘密があるのでしょうか。

○企画財政課長（坂本幸喜君） お答えします。

まず、御船町は全国の中でも寄附額に対する返礼品率がトップの部であります。米につきましては、今現在寄附額1万円に対して10キロの米を返礼品としていることや、あとはもともと今まで御船町が出しています森のくまさん、それともう1つ、ヒノヒカリ、これが全国でもネームバリューがありまして、寄附者の安心感につながっているものと思われまます。また、御船町は返礼品に新たに3カ月、それとまた6カ月、そして12カ月の定期便を取り込んだことによりまして、多額の寄附額の増加につながったものと考えます。

○1番（中城峯雄君） いろいろ創意工夫をされて返礼品の増加につながっていると思います。今後も引き続きお願いしたいと思います。

もう1点、99ページです。地域おこし協力隊の補助金が1,600万円支出されております。これはどんな活動に補助をしているのでしょうか。

○企画財政課長（坂本幸喜君） お答えします。

隊員に課せられた活動ミッションを達成するための必要な経費に補助しております。達成するための経費であれば、ほとんど該当します。通常、隊員の旅費とか、また備品購入とか、隊員が使うものです、それも該当します。それと隊員の住宅の借上料、毎月の住宅の借上料を4万円を上限に、これも経費の中に入っています。町が与えたミッションにかかわる分はすべてに該当するということになります。

○1番（中城峯雄君） 高木では、高木地区の地域おこしということで、先日、上申書も上げておりますけれども、高木の高山地区で蛍の里づくり実行委員会を立ち上げて、区長が実行委員長ですけれども、地域ぐるみで、この蛍の里を御船町の観光名所の1つにするために、今活動を一緒に就いたばかりですけれども、カワニナや幼虫が流れないように栗石を入れたり清掃したり、その段階ですけれども、こういった活動をやっております。

先日、6月初旬頃、蛍が出る時期に、せいぜい2週間ぐらいしか出らんとですよ、蛍の命って、本当に短いものです。高木小学校の校長先生に私が「先生、1回見にいってみらんですか」と言って、奥さんともども見にいかれて、そして蛍が乱舞する光景を見て感動されて、高木小学校の通信にも載せておられました。これは、ぜひ高木小学校の授業にと。ほとんど高木の人には知らないわけです。だから、高木小学校の小学生の授業に何かの形で取り入れたいと。もう既に教頭が蛍の幼虫を育てられたんですよ、失敗しましたけれども。そういった取り組みもされておりますし、地域ぐるみ、また小学校も含めて、そういったふるさとの宝をこれから育てていきたいとさらに思いますが、蛍の里づくりの会に、この

地域おこし協力隊は導入できないでしょうか。

○企画財政課長（坂本幸喜君） お答えします。

まず、地域おこし協力隊の導入団体としましては、3つほど私たちは掲げております。協力隊の受入体制が整っている団体であること。2つ目が団体等の事業推進委員が地域づくり並びにまちづくりに貢献するものであること。3つ目が隊員の住む家の手配、それに地域住民との交流機会の提供、そして隊員の相談役など、地域おこし協力隊の活動ほかのサポートができること。この3つを掲げておりますので、これに当てはまれば導入は可能だと思います。

今の話を聞きまして、地域づくりに貢献できると考えていますので、後日、担当係がコミュニティ推進係になりますので、そちらに協議していただきたいと思います。よろしくをお願いします。

○9番（福永 啓君） 何点か質問いたします。まず81ページ、これが、決算としては最後の決算になるかなと思います。嘱託員報酬です。今年度から変わりましたので。この嘱託員報酬ですが、嘱託区再編成もございまして、昨年、一昨年と減少していたんですが、最後の決算において若干増えております。この理由は何でしょうか。

○総務課長（藤野浩之君） お答えいたします。

嘱託員につきましては、今年度から制度等が変わりまして、区長という形で今新しく組織ができたところです。平成31年度（令和元年度）につきましては最後の嘱託員ということで活動していただいております。その中で、増えた要因としましては、まず世帯数が増えています。平成30年から令和元年に対しまして世帯数が増えているということです。嘱託員の委託料の報酬の算定基礎としますのは、地区割と戸数割という形で報酬を定めております。その中で、世帯数が増えたというところで、全体的な報酬が若干増えたというところになっております。

○9番（福永 啓君） 報酬の基礎額は変わってないですね。すると純粋に世帯数が増えたということのみですね、はい、わかりました。

すみません、これは個人的に聞けばよかったのかもしれませんが、89ページ、ここに新聞購読費が財産管理の需用費の中に、今年だけあるんですけど、これはどこからどうなってきたのでしょうか。

○総務課長（藤野浩之君） お答えいたします。

需用費の中に新聞購読料ということで計上しております。これは、庁舎のロビーに置いてある新聞ということで、予算上は財産管理費の中で今回処理したということになっております。

○9番（福永 啓君） それは理解しているんですが、前のもちゃんと見たんですが、なかなか見つけられなくて、今まではどこに計上してあって、今年なぜここに計上するようになったのか、それをお聞きしたわけです。

○総務課長（藤野浩之君） これまでは、総務費の中の総務管理費、一般管理費の中の需用費として計上されていたと思います。

○9番（福永 啓君） ありがとうございます。次、同じく89ページです。電気料が1,000万円上がっています。御船町はここだけでなく、これは庁舎のみですから、町内の機関でしたら相当の電気料を毎年支払っているわけなのですが、これは他町村で行われているような入札の検討とかの状況はいかがでしょうか。

○総務課長（藤野浩之君） 電気料につきましては、私たちも節電を行ったりLED化をしながら節電に努めているというところです。その中で、電気料の入札ということですが、これについては、担当でもいろいろな情報を得ながら検討というところまではやっております。ただ、入札というところまではまだ行っておりませんが、今後どうするかというところは常に検討をしているところでもあります。

○9番（福永 啓君） 町内だったら恐らく2,000万円とか3,000万円規模の電気料金を払っているはずですが。そして入札した他町村の例を見ますと、それだけで3割下がるところがあるんです。何にも努力をしないというか、言い方はあれなんですけれども、入札をするだけで数百万円のお金が一般財政に浮いてくるわけですから、これは強く検討していく必要があるし、いろいろな事情はあるかもしれませんが、やはり御船町として、このところは早急に何らかの検討をしては、資料も差し上げましたから。

次、97ページ、これは誠に毎年同じ質問をして申し訳ないと思うんですが、これだけは言っておかないといけないと思いがあまして。コミュニティバスに対する補助金です。今年が2,300万円ほどあります。これが、ほとんどが町の単独持ち出しになっています。今年は下がってよかったねという下がり方ではなかったんです。便数が減ったので不便になったので下がったという、非常に逆の負のスパイラルに陥りつつあるというところになります。これは長年の検討課題なのです。やはりこれは公共交通機関の再編をしなければ

いかんわけですよ、いずれ。私は直接お話をお伺いしたこともあります。業者の方も待っていていらっしゃいますよ。業者はプロですから、いろいろなアイデアをお持ちです。だから、町からアプローチしてくれれば、こちらからアイデアを出すことができるという話は、何か議会のときもされると思います。議会がちょっとお話をお聞きしたときもです。

そのように、もう絶対何か、私が提案しました無人バスも含めて、もう何かドゥ「D o」ですね。行動を起こす時期だと思います。現在の検討状況及び計画はどのようになっていますか。

○企画財政課長（坂本幸喜君） お答えします。

本年の6月11日に、私たちが熊本運輸局と新規路線の協議を行っております。その際、運輸局から町の計画に対して国として支援できることは支援していきたいとの回答をいただいております。また、7月17日に町内の交通事業者であります麻生交通、それと御船タクシーと意見交換をしました。その意見の回答が新規路線の開設にはぜひ協力したいと、この2社からいただいております。

これを受けまして、現在、令和3年度に御船町公共交通計画の策定と同時に、今現在、新規路線の開設に向けた町内のバス停までの約500メートル以上の空白地域の把握を行っております。新規路線の開設をしたときにどのくらいかかるのかとか、そういう試算を今行っている状況です。

○9番（福永 啓君） 免許返納者の方が次々に増え、免許返納者はうちの父も実はそうなんですけど、ドアからそこまでというのが非常に重要なんです。ラストワンマイルとよく言うんですけど、その検討ももう同じ問題を抱えて、いろんな問題を抱えてやっている市町村が山ほどあります。成功事例も失敗事例も山ほどありますので、ぜひ後発はいいとこ取りをして頑張ってくださいと思います。

次、103ページ、これも毎年言っているような感じですけど、使用料及び賃借料というのが103ページのシステムソフトの何てらです。見事に毎年毎年少しずつ上がってきているんですよ、十何年間、1回も下がらずに。もう真綿で首を絞められるがごとく、こういうものに関しては御船の財政に影響を与えているのではないかなと思うんです。これも何とか、どうにかしなければいけない。企業会計はやっています。本当に何か極端に、よくテレビでやっているようなシステムを導入して、10分の1に下がりました。というところも、実際に企業だったらあるんです。市町村では難しいかもしれませんが、でも何とかし

なければいけないのも事実だと思います。毎年上がり続けているものに関してはですね。このあたりの対策はどうなっていますか。

○総務課長（藤野浩之君） お答えいたします。

今、議員から御指摘いただいたとおりであります。このシステムの保守点検また使用料については年々上がっているというところではあります。ただ、これにつきましては、機器の更新等も5年に1回ほど行うということで、その分上がってくるということ。それと同時にバージョンアップをしていくという部分もあります。また、セキュリティの強化ということも当然強化していく必要があるということになります。

それと、国の制度に伴う改修というところも出てきますので、ここについては、上がっていくときもあるかと思えます。そういった形で、ここについては、私たちが節減に努めながら行っていくということになりますが、どうしても国との関係、そういったところもありますので、なかなか難しいところもあるかと思えます。

○9番（福永 啓君） だからこれは1回も下がったことも同じ金額になったこともないんですよ。ずっと少しずつ上がってきているんです。まさに真綿で首になるんです、財政にとっては。仕方がない金額でしょう、これは。仕方がないお金みたいなんですよ。けれども毎年上がってきちゃうんですよ。やはりこのところは仕方がないで切り捨てることなく、こんなのはもう10年もしたらこんなになっちゃいますよ。ぜひここに関しては、何かほかの自治体も同じ悩みが必ずあるはずですから。ほかの自治体とともに一緒に考えながらやっていただければなと思います。

あと2点です、すみません。105ページ、企業誘致、昨年質問したパンフレットです。これは印刷費が上がっております。企業誘致に関するパンフレット、何部印刷して、どのように配布しているのか、それをお答えください。またホームページからはこのパンフレットが見れますか。

○企画財政課長（坂本幸喜君） お答えします。

ここの企業誘致のパンフレットにつきましては、A4判でフルカラーとしまして、12ページの企画で作っております。印刷としては1,000部を印刷製本しております。主な使用としましては、企業からの立地相談時に配布しております、今現在は。また、ホームページとさっき言われましたけれども、ホームページは現在掲載内容の一部リニューアルを検討中のため、パンフレットも閲覧できるような対応もとっていきたいと考えております。

まだ現在はホームページには掲載しておりません。

○9番（福永 啓君） 今、ウェブ上に掲載してないということは、資料がないのと同義になりつつあるんです。だから、せっかくいいものを作られました。ですので、それに関して、これは外部の人に見せるものですから、どこかに必ずウェブサイトの中にこういうのがありますというのを急いで掲載すること。でないと、せっかくいいことをやっているのに、それが見えない。よろしくお願いいたします。

次に105ページ、これが最後です。私は昨日一般質問で竹バイオマス問題について質問いたしました。住民の方から、その後にお問い合わせがあったんです。一番最後に、私が聞いた部分ですけど、もう少し詳しく聞いてくれと。弁護士費用、これは弁済金です。これについて、弁護士費用の弁済金に関して、法律に沿って粛々と回収を行うという答弁で、私もやってくださいみたいなふうに言ったんですが、具体的にそれはどういうことなんですかと。どうやって弁済金を請求、徴収していく予定なんですかということをお聞きいたします。

○企画財政課長（坂本幸喜君） お答えします。

竹バイオマス住民訴訟に基づく、元町長への損害賠償の回収方法ということの質問でよろしかったと思います。

まず、不動産等の差し押さえを含めた強制執行申し立てを視野に入れまして、弁護士と相談を今進めております。法に沿ってよりよい方法で粛々と進めていきたいと考えております。

○3番（宮川一幸君） 成果説明書でお伺いします。10ページです。先ほど中城議員が地域おこし協力隊のことでお伺いになりましたが、再度お伺いいたします。地域おこし協力隊活用事業の中で、3のところ、御船町が掲げるいろいろな地域課題を地域おこし協力隊の活動により解決しますという形で明記してありますが、活動の実績は読んで書いてありますが、何か解決した事例があったら御報告をお願いしたいと思うんですが、よろしくお願いいたします。

○企画財政課長（坂本幸喜君） お答えします。

解決した事例、成果という形でよろしいでしょうか。はい。

今現在、令和元年度10名の地域おこし協力隊を各団体に導入しております。まず、山間地区では水越地区あたりでもずっと入れていきますけれど、あのあたりがなかなか引っ張っ

ていく人、リーダーがいないということで、その地域おこし協力隊の方がリーダーになって地域の活性化、地域の祭り、イベント、そのあたりを中心にされているということです。事務局の代わりもされているという形です。

オール御船にも3名ほど地域おこし協力隊を入れております。そちらの方は自分たちでいろいろ考え行動されて、御船町の商店、加盟店あたりの新しい商品の開発、そういうあたりもして、販売先まで自分たちで考えて、そういうものを、PRをされています。

○3番（宮川一幸君） 今からも、地域おこし協力隊はまた何名か予算等も上がっていたと思うんですが、いろいろ入ってくると思いますが、最終的にそういった形で地域の課題を解決しながら、なかなか地域は、中山間地域は特に高齢化率がひどくなってきて、その地域のリーダーになる方がいらっしゃらないという形で、こういったいろいろ地域のイベントをしながら、地域の活性化を図っていかれるのかなと思うんですが。そういった方が、今度は逆に地域に根付いていただければ一番最高なんです。なかなかそういったのが難しいのが現状かなと思っていますので、雇用されるとき、最終的にはやはり地元でどうにか根付いていただくような方をしっかり人選していただければ幸いかと思いますので、よろしくをお願いします。

続きまして、もう1件お伺いします。成果説明書の13ページです。嘱託員の再編事業についてなんですが、今実績として何か再編があっていると思うんですが、今協議をしているほかのところは何地区か、再編をしようとするところは何地区かあるのでしょうか、お伺いします。

○企画財政課長（坂本幸喜君） お答えします。

嘱託区再編につきましては、まず区長、理事会あたりでもいろいろ御相談をしております。それと町担当で各地区に出向きまして、その区長あたりともいろいろ話をしています。その中で、なかなか難しいところもあります。ただ、令和元年度は上迎町、下迎町で1つの嘱託区、迎町という嘱託区になっております。令和2年7月31日付けです。今現在三、四、五丁目を嘱託区再編ということで、毎月1回協議会を立ち上げまして協議を行っているところです。ただ、山間地区に関しましては、この間、東上野の区長とも若干話をしましたけれども、なかなか話にのってくださる方と、やはりちょっと待ってくださいと、いろいろ課題があつていきますので、その辺は協議を重ねていって、新たな嘱託区再編に向けて協議を行っていきたいと考えております。

○10番（田上 忍君） まず、同じところで、今の嘱託区再編の件ですけれども、今まで水越地区と上下迎町が再編できたということですが、できた後のその後の状況というか、問題点とか、やってよかったねとか悪かったねとか、そういう点があったら教えてください。

○企画財政課長（坂本幸喜君） お答えします。

まず今までの嘱託区再編の取り組みとしましては、今言われました水越が1つ嘱託区再編をしております。それともう1つ、上荒瀬、下荒瀬が荒瀬地区ということで嘱託区再編をしております。現在、今進んでいるのが上迎町、下迎町が1つの嘱託区に、この3地区が嘱託区再編が進んでおります。

その中で、活動補助金として今のところ20万円ほど嘱託区再編されたところには補助金を出しています。その中で、自分たちで、今までは1つの地区を、その地区だけの方で草刈りとかいろいろされていましたが、現在はこの区とまとまりましたので、少ないところは多いところから手伝いに行くとか、そういう形でされているということで、負担が軽減されたと。なおかつさっき言いました補助金も設置しておりますので、防犯灯の整備をしたとか、防災行政無線のラジオを購入し、全戸配布したとか、そういうのはメリットとして実績として上がっております。ただ、なかなか嘱託員の区長が全部を見なければいけないということでありましたので、そこは補助を付けておりますので、そのあたりで何かありましたら町にも御相談くださいということで伝えております。

○10番（田上 忍君） よかったという点が多くて、今後もこういうのを参考にして進んでいくのではないかと思います。ただ、草刈りの件、先ほど言われましたが、人数の多いところから少ないところに手伝いに行って楽になったという点はあるけれども、逆に今度は今まで1日で済んだのが3日間かかるよとか、1日にこっちに行って、2日目にこっちに行って、3日目にこっちに行くとか、回数は増えたとかいうことも聞いております。まあ、善し悪しはあるのではないかと思います。

この成果説明書でいきますと、7ページですが、第2期御船町まち・ひと・しごとの事業ですけれども、この中で、どのように変えたいのかという中で、町内に新しい人の流れを作る雇用の場の創出云々ということで上がっております。これに対する成果とかはどうなるのでしょうか。

○企画財政課長（坂本幸喜君） お答えします。

総合戦略の計画に対する成果はどのようなものかという質問だと思います。お答えしま

す。まず、吉無田ドームキャビンをはじめ、空き家調査等、今までした事業としましては、お試し移住ハウスの整備など、総合戦略に掲げた目標を達成するために、その事業として、まず2分の1の交付金を受けられることができました。また同様に雇用機会の増大につなげるために御船インター東側の町道整備につきましても、国から今までなかった補助金、これを総合戦略を作ることによって交付を受けられたということがあります。

総合戦略を策定したことによりまして受けた交付金が、令和元年度までに約5億8,000万円、総合戦略を作ることによりまして約5億8,000万円の交付金を受けられたということになっております。

○10番（田上 忍君） 予算面からそうやって交付を受けたということでよかったですと思いますが。ではこの中に上げられている新しい人の流れを作るという点については、この新しい人の流れというのはできたと思われませんか、どうでしょうか。以前、商工観光課長がいろいろな施設がある、この辺を回遊できるようなものを作りたいということも言われておりました。その点、どうなったと思われておりますか。

○企画財政課長（坂本幸喜君） お答えします。

人の流れを作るということで、そのためにも、企業誘致も1つの材料だと思っています。コストコの誘致を今進めております。年間300万人ほどの方が御船町においでますので、そのあたりも、それを利用して新たな人の流れを作っていきたいと考えております。

○10番（田上 忍君） これからということですね。ぜひコストコもできますので、その新しい流れをこれから作っていければと思います。

それでは、あとは決算書ですが、82ページに、町長の普通旅費がありますが、これについて、もうちょっと、どういうものを説明お願いできますか。

○総務課長（藤野浩之君） お答えいたします。

旅費につきましては、町長普通旅費ということで、昨年度は28件を普通旅費として支払っております。内容につきましては、陳情活動また要望活動等に行かれた分、また全国大会等がありますので、そういった総会、大会に行かれた分の普通旅費となっております。

○10番（田上 忍君） いろいろな陳情活動ということですが、町をよくするために今後もっともっと私は使ってもいいかなと思いますので、どんどん奨励活動頑張ってもらいたいと思います。

次、90ページですが、草刈りの委託料とありますが、これはどの地区の草刈りになるの

でしょうか。

○総務課長（藤野浩之君） お答えいたします。

草刈りにつきましては、町で管理している普通財産のものになります。どうしても職員でできない部分を委託したというところになります。場所は、旧高木保育園の法面の部分、それと白岩工業団地の調整池の部分、それと滝尾、玉虫団地の法面に所有地がありますので、そちらを委託したというところになります。

○10番（田上 忍君） わかりました。ほかは職員の作業で頑張っているということですね。

次、96ページ、地域おこし協力隊について何人かの方が質疑されておりますが、現在10人ということで、そろそろ卒業される方もおるかと思いますが、その方たちは、この後御船町に定住してくれるのでしょうか。その辺は情報はどうなっていますか。

○企画財政課長（坂本幸喜君） お答えします。

令和2年3月31日現在で10名の地域おこし協力隊の方が御船町にいらっしゃいます。そのうち、令和2年度中に退任される方の地域おこし協力隊が5名いらっしゃいます。一応ヒアリングもしておりますので、その5名の方のほとんどが御船町にそのまま定住されて、新しい企業を立ち上げたり、どこかの会社に勤めたりという方で、大体そういう形で私たちは聞いております。

○10番（田上 忍君） わかりました。定住してくれるということはありがたいことだと思っております。

それからあともう1つ、移住コーディネーターということですが、これは成果説明書のほうですけれども、5世帯の方が移住・定住されたということですが、大体どの地区に移住されたのでしょうか。

○企画財政課長（坂本幸喜君） すみません、どの地区までは把握はできていません。ただ移住相談会に行かれまして、その移住コーディネーターの方からいろいろ相談を受けて、その施策によって御船町にこれだけの方が移住されたということで、地区まではすみませんけれども、把握しておりません。

○10番（田上 忍君） わかりました。中山間地だったのか平坦部だったのかなというところを知りたかっただけです。こうやって5世帯増えたということは、移住コーディネーターの方の力もあったのかなと思います。

あと、95ページに誘導案内板とありますけど、これはどういうものですか。誘導案内板

の設置とありますけれども。

○企画財政課長（坂本幸喜君） 決算書の95ページの2万円というのでよろしいでしょうか。
はい。

これは、旧445号の御船クリニックの駐車場に誘導看板ということで、大きな看板を設置しております。カルチャーセンターはこっちですよ、役場はこっちですよという、各公共施設の、こちら側ですよという誘導看板を設置しているということになります。

○10番（田上 忍君） わかりました。次、98ページです。婚活の事業がありますけれども、この成果はいかがだったでしょうか。

○企画財政課長（坂本幸喜君） お答えします。

令和元年度は、3月に婚活事業を予定しておりました。しかしコロナウイルス感染症の関係で中止ということになりました。ただそれまでどうしても準備が必要でしたので、その準備分がここに11万円ということで掲げております。補助金として10万円入ってきたということで、これは県の単独事業ですので、県とも協議しまして、準備までかかった費用に関しましては町として補助金を出しますということで、実施はゼロということになっています。翌年度にまた新しい事業を立ち上げたいと思います。

○10番（田上 忍君） わかりました。コロナ禍でしようがないということですね。

次、100ページですが、防犯灯の電気代とありますが、これは純粋に電気代だけなのでしょうか。新たに町で何か防犯灯を付けたところとかはあるのでしょうか。

○総務課長（藤野浩之君） 防犯灯につきましては、電気料ということになっております。新たには設置はしておりません。学校関係で何か設置はあっておりますけれども、総務関係で設置をしたというところはありません。防犯灯につきましては、集落が設置をされますので、その分の電気料という形での支出になります。

○10番（田上 忍君） わかりました。あと、交通安全防犯対策等の関係で、カーブミラーの修繕とありますが、これはどういう修理というか、新しく何か付けたとか、そういうのはあるのでしょうか。

○総務課長（藤野浩之君） これは、記載方法がわかりにくかったんですけれども、新設が12カ所あります。それと修繕が16カ所ということで、計18カ所分の新設、修繕となります。

○10番（田上 忍君） わかりました。新設と修繕ということですね。この成果説明書の14ページを見ますと、交通安全防犯対策ということなんですけど、今は道路のパトロールをやら

れているかと思います。これも関連するような事業だと思うんですけども、木が生い茂っていたり草があつたりして、道路標識とかが見えないのがあるかと思いますが、そういうのを見た場合には、道路のパトロールのときにちょっと改善するとか、そういうことはやられているのでしょうか。

○総務課長（藤野浩之君） 今道路パトロールということで、町道のパトロールとか、そういうことでしょうか。はい。

総務でも登下校時とか、いろいろなところでパトロールを行います。その中で、町道等異変があるところ、気付いた点につきましては、道路管理者等には報告はしているところです。

○10番（田上 忍君） わかりました。せっかくそうやって回られているから気が付いた点は即直してもらえればと思います。

最後になります。104ページに、企業誘致のことで、今回はコストコ関係が大きなものだったかと思いますが、旅費として約5万円ぐらいしか上がっていないんですが、ちょっと少ないんじゃないかなど。もっともっと企業誘致に力を入れているのだったら、もっとこういうのが増えてくるんじゃないかと思ったのですが、いかがでしょうか。

○企画財政課長（坂本幸喜君） お答えします。

もともところこの企業誘致の関係に関しましては、大体50万円ぐらいの予算を付けておりました。ところが、この予算というのは大体今年にはコストコにある程度こちらも出向かなければいけないとか、協議するのもしっぱいありましたので、そういうあたり組んでおりましたけれど、コストコの協議に関しましては、向こうからこっちに来られたりとか、そうしましたので、一応こういう5万円ぐらいの執行に終わったということで。ただ今議員が言われているように、第2、第3の手も打たなければ、それが必要だと思いますので、今後は新しい企業版ふるさと納税あたりも今年には計画しておりますので、本年度はこちらから企業に出向いて誘致を考えていきたいと思っております。

○10番（田上 忍君） ぜひ、そういうことでやってほしいと思います。

企業誘致については、町長はどうですか。どういう考えでやっていけますか。

○町長（藤木正幸君） 企業誘致、全国の自治体はほとんどが企業誘致という言葉を使っていると思います。そこを勝ち抜かなければいけないと考えます。より多く、こちらから攻めるというのが今後大事になってくると思いますので、企業誘致係ともに頑張っていきたい

と思います。

○2番（井藤はづき君） 何点かお尋ねします。まず、決算書の83ページです。こちらに職員手当と共済費が出ていますけれども、それぞれ不用額が1,000万円以上ずつ出ています。これは想定していたより職員が少なかったということになりますか。

○総務課長（藤野浩之君） お答えいたします。

今、職員手当と共済費の不用額ということの御質問ですけれども、職員手当は不用額は140万円ということであります。共済費は今議員御指摘のとおり1,000万円以上の不用が出たということになります。この理由としましては、当初予算におきましては非常勤職員の月の勤務時間を最大130時間で積算をしています。実績として平均しますと120時間だったというところで不用額が発生しております。それと臨時職員を、20名で当初予算積算をしています。しかしながら、そこで対象となった職員が13名であったということで、ここで減額、不用額が出ております。非常勤職員の社会保険料として86名分の費用ということになっております。

○2番（井藤はづき君） 職員については、人数ではなくて時間が減ったということですね。臨時職員は想定より少なかった、それで大丈夫だったということでしょうか。それとも、何か応募が少なかったとか。

○総務課長（藤野浩之君） ここは今説明したとおり勤務時間が少なかったということで、実績に合わせたということになります。

○2番（井藤はづき君） 臨時職員は20名で予算立てたけれども、13名だったという説明だったと思いますが。

○総務課長（藤野浩之君） 臨時職員は20名ということで、その中でこの対象になった職員が13名だったということになります。職員としては20名でありました。

○2番（井藤はづき君） 決算書の93ページです。ふるさと納税関係で、先ほどもありましたけれども、93ページは返礼品の関係で、これは定期便が加わったということで、令和2年度に持ち越す分があるのでという御回答だったと思いますので、これは町内企業に支払うというか、お金が減ったのかなと思って心配したんですけれども、安心したところでした。

95ページです。委託料のところの不用額が1,300万円ほど出ていますけれども、こちらはどのような理由で不用額が出ていますか。

○企画財政課長（坂本幸喜君） お答えします。

ここに不用額が1,300万円ほど出ております。これは、ポータルサイトのページ作成、返礼品の配送、それと返礼品事業者との調整を支援していただいている業者に支払う委託料となります。対象者は、さとふると、コムセンス、レッドホースコーポレーションが対象です。

主な要因としましては、楽天ふるさと納税、それとふるなび上での寄附が集まるように、人気返礼品に対しまして委託料の見直しを行ったことによりまして、不用額が発生したということになります。

○2番（井藤はづき君） コスト削減がうまくできたということによかったと思います。

続きまして、99ページです。こちらに集落点検業務委託料とありますけれども、こちらは成果はどうだったのでしょうか。

○企画財政課長（坂本幸喜君） お答えします。

この集落点検業務委託料、南田代第4区、もう1つ、水越地区の中央区、この2校区を行っております。まず、南田代第4区の成果といたしましては、同区との協議の中で、震災で破損した炭窯を復活した地域づくりの実施を考えていらっしゃいまして、それにつきまして令和2年度の熊本夢チャレンジ推進補助金を活用しまして、体験交流を交えた炭窯の復活と炭作りを復活しまして、現在事業実施に向けた体制づくりをされております。課題としては、水越地区の成果といたしましては、内部から支援していただく体制づくりとしまして、なかなかさっき言いましたように、リーダーがないという形で、平成30年7月に水越地域活性化協議会に地域おこし協力隊を1名導入しております。今現在、引き続き協力隊が必要と思われておりますので、本会議で新たにもう1人また新規の追加ということで上げております。

○2番（井藤はづき君） わかりました。今回の総合計画に同村会というワードも出てきていたのかなと思いますけれども、こちらの集落点検の中で出てきたワードかなと思います。これは、今後どのように展開されていくのでしょうか。

○企画財政課長（坂本幸喜君） この同村会は、集落点検事業の中の協議の中でも、この同村会という話が出ております。同村会を設置は賛成だが、事務局を機能してもらえののかなかないとか大変とか、そういう意見が課題となっておりますので、事務局を補完できるようなまず仕組みづくりを考えて同村会の設置に向けていきたいと思っております。

○2番（井藤はづき君） この同村会というのは、またこれから地域を限定して展開されてい

くのか、それとも満遍なく町内全域という形になるのでしょうか。

○企画財政課長（坂本幸喜君） お答えします。

同村会設置に関しては、まずモデル地区をどこかでやられる必要があると思います。その地区の中の人だけではなくて、それから出られた人です、地区の出身者とか関係人口とか何らかでかかわりのある人、そういう方たちもこの同村会と一緒に入ってもらって、そういうことで携わっていくと。まず最初は、どこかモデル地区を考えております。

○2番（井藤はづき君） わかりました。続きまして同じ99ページの、空き家バンクについてお尋ねします。こちらは成果説明書を見ると契約件数が2件とありますけれども、これは去年と同じ数字ではないかなと思ったんですけれども、今現状はどうなっていますでしょうか。

○企画財政課長（坂本幸喜君） お答えします。

ここに書いてあります令和元年度の実績としては2件です。しかし、運用開始から令和2年8月時点までの空き家が8件登録、空き地が4件、合わせまして12件の物件の登録があります。うち空き家5件が契約が成立しております。状況としては、最近固定資産税の納税通知に同封しているチラシ、この影響もあっております。ですので、空き家とか空き地をバンクに登録したいという相談が私たちに入ってきております。

○2番（井藤はづき君） そうやって積極的に活動されているということで安心しましたけれども、やはり空き家って結構いっぱいあるんですけれども、なかなかこちらの数字には反映されてこない空き家も多々あると思います。そういったところはどうのようなことが課題になっているのですか。

○企画財政課長（坂本幸喜君） お答えします。

一番の課題は、登記の名義が違うということです。昔の登録そのままと、なかなかそこまでは私たちは登録は不可能と。個人で名義を変更してもらおうとか、そういうのが1つ。それと、中にまだ仏壇とか物が入っているということで、そのあたりと、あとそれをどうにか移動してもらおうか、また入ってこられる人がそれでもいいとか、名義とはちょっと別なんですけれど。それともう1つが、どこか一部改修をしなければいけないというのが1つ、それは一応改修補助金を令和2年度に設置しましたので、そのあたりは活用してくださいということでお知らせしていますけれども、今言いました、そのような場合がいろいろ課題として上げられます。

○2番（井藤はづき君） 次が最後です。決算書の99ページの下のほうから、交通安全対策費が出ていますけれども、交通指導員の保険についてはどうなっていますでしょうか。

○総務課長（藤野浩之君） お答えいたします。

今現在、交通指導員につきましては20名で活動いただいているところであります。交通指導員の保険につきましては、決算書の83ページを御覧いただきたいと思います。その中の共済費であります。共済費の中の真ん中からちょっと下ぐらいです。非常勤特別職公務災害補償掛金ということがありますので、その中で対応しているということになります。

○2番（井藤はづき君） そうしましたら交通指導員の方々にも保険がかかっているということですね。それを御存じない方もいらっしゃるみたいなので、お伝えしておこうと思います。

○議長（池田浩二君） お諮りします。ここで10分程度休憩を取りたいと思います。御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（池田浩二君） 異議なしと認めます。これより11時30分まで休憩します。

~~~~~ ○ ~~~~~

午前11時19分 休憩

午前11時30分 再開

~~~~~ ○ ~~~~~

○議長（池田浩二君） 休憩前に引き続き、会議を再開します。

○5番（田上英司君） まず、決算書の103ページの一番下を御覧になってもらいたと思います。今まさに日本国は本日新しい総理大臣が誕生する予定です。念願の安倍総理大臣は自衛隊を憲法に明記するかどうかというのも厳しくなってきました。個人的なイデオロギーはあるとは思いますが、自治体としては日本国あらゆるすべての自治体が隊員の募集事業に携わっていらっしゃる。御船町も7,776円と、1万円にも満たない、これはパンフレットとか何かだろうかとは思いますが、これの募集を踏まえて、御船町の若い人が年間何人ぐらい陸・海・空、今度は宇宙サーバーもあるんですが、隊員として育てていっておられるか、そこをおわかりでしょうか、お尋ねします。

○総務課長（藤野浩之君） お答えいたします。

自衛官の募集ということで、町もこれに携わっているところであります。それと、自衛

隊の家族会というのもありますので、そちらでの募集等も今協力して行っているというところですが、今何名かと言われましたけれども、手持ちに資料等はございませんが、一桁ぐらいではなかったろうかと思っております。

○5番（田上英司君） 非常に今聞くところによると、隊員の数が全国的に減ってきているということですから、積極的な募集活動を展開していただきたいと思います。今、御答弁にありましたように、105ページになりますか。自衛隊の家族の会に対する補助金5万4,000円、この補助金の金額の決まりというのがありますか。なぜ5万4,000円なのか、お尋ねしたいと思います。

○総務課長（藤野浩之君） お答えいたします。

自衛隊家族会への補助金ということで、これは規則要綱が何かあったかと思っておりますので、また報告をさせていただきます。

○町長（藤木正幸君） 補足します。家族会で、宇城地区ということでありまして。宇城地区が上益城、下益城、宇土が1つの地域になっています。地域で1つの家族会というのがあります。その分担金がこちらに来ていますので、その活動費用になります。

○4番（福本 悟君） 3点について伺います。まず1点目でありまして、先ほどの福永議員と少しダブりますけれども、成果説明書の2ページ、嘱託員関係の事業になります。決算として報酬が約2,500万円ほど上がっていますが、この2,500万円の基礎となる金額等は明記されてありますので、その基礎となる基準日について伺います。

○総務課長（藤野浩之君） 嘱託員の報酬の基準ということでありまして、世帯割というところでやっております。そこは前年度の4月1日現在の住民基本台帳の世帯数というところで算定をしております。

○4番（福本 悟君） 課長に再確認ですけれども、今の答弁は、前年度の世帯数というところでいいですか。

○総務課長（藤野浩之君） はい、前年度の住民基本台帳の世帯数というところになります。

○4番（福本 悟君） 次の質問に入ります。同じ説明書の次の3ページになります。職員の研修事業というところで、13の委託料で総額の29万2,000円、職員におかれましては、何年かごとの異動がつきものというところで、この下に、実績で全体での研修、それと市町村の研修等で、こちらは自主的に参加されての研修となりますが、この事業でどのような成果、または職員からの、何かこれに対してよかったなとか、そういうことをお聞きした

いと思います。

○総務課長（藤野浩之君） お答えいたします。

職員の研修につきましては、職員の資質の向上であつたり人材力の向上、能力開発を図るための基本的な指針として御船町において、御船町職員研修基本方針というのを定めております。その基本方針に従って今研修を行っているというところであります。

成果としましては、各研修を受けまして、それを職場、仕事に職員それぞれが生かしているということになるかと思ひます。今後もやはり各職員の個人の能力を最大限に開発しながら伸ばすことが町の組織力の強化につながっていくものと考えております。この研修につきましては、今後も継続して取り組む必要があるかと思ひております。

○4番（福本 悟君） 了解しました。次は最後になります。こちらも、少し重複するかと思ひますけれども、説明書の14ページの、交通安全と防犯対策事業ですけれども、実績で電気代とかカーブミラー等の修繕、それと下に熊本地震に伴う防犯灯の修繕が書いてありますが、これによって町がどのような成果を受けたのか、わかる範囲で説明を求めたいと思ひます。

○総務課長（藤野浩之君） カーブミラーであつたり防犯灯、安全施設の関係ですけれども、これを整備することによりましてやはり地域の安全性が確保できたというところになるかと思ひます。

○4番（福本 悟君） 以上で、質問を終わりますが、今お伺ひしたのは町の総合計画の第12期の基本計画、平成28年から31年までの関係で、この中で平成31年度の目標と申しますか、そちらが交通安全対策の満足度が40%とか、防犯灯の設置の満足度が30%とかありましたので、一応確認で質問させていただきました。

○議長（池田浩二君） 質疑なしと認めます。

次に、3款、民生費について説明を求めます。

○福祉課長（西橋静香君） 122、123ページをお願いします。3款、民生費について説明します。1項、社会福祉費。1目、社会福祉総務費。支出済額7億1,762万7,000円。125ページをお願いします。主なものは、13節、委託料、介護予防拠点改修設計委託料上野分館改修設計96万5,800円。127ページをお願いします。熊本地震災害に係る地域支え合いセンター運営委託料4,911万5,000円、災害公営住宅等コミュニティ形成支援事業委託料392万7,960円、19節、負担金補助及び交付金、御船町地域医療介護総合確保基金事業補助金秋

只公民館改修工事543万6,000円、みなし仮設住宅転居費用助成補助金970万円、みなし仮設住宅民間賃貸住宅入居支援助成補助金880万円、応急仮設住宅転居費用助成補助金2,270万円、公営住宅入居助成事業補助金1,420万円。28節、繰出金、国民健康保険特別会計繰出金2億151万7,354円、129ページをお願いします。介護保険特別会計繰出金介護分2億9,299万3,000円、介護保険特別会計繰出金包括分1,955万5,000円です。

2目、社会福祉施設費。支出済額230万7,000円。主なものは、1節、報酬、町民憩の家の非常勤職員報酬131万7,120円です。

3目、老人福祉費。支出済額1億1,419万6,000円。主なものは、19節、御船町社会福祉協議会運営補助金1,960万円と、131ページをお願いします。20節、老人ホーム入所措置費1億680万1,346円です。

5目、高齢者コミュニティセンター管理費。支出済額128万4,000円。主なものは、・・・議長、すみません、数字が間違っておりましたので、読み直していただいてよろしいでしょうか。

○議長（池田浩二君） はい。

○福祉課長（西橋静香君） 122ページをお願いします。1項、社会福祉費。1目、社会福祉総務費。支出済額7億1,830万3,574円。125ページをお願いします。主なものは、13節、委託料、介護予防拠点改修設計委託料上野分館改修設計96万5,800円。127ページをお願いします。熊本地震災害に係る地域支え合いセンター運営委託料4,911万5,000円、災害公営住宅等コミュニティ形成支援事業委託料392万7,960円。19節、負担金補助及び交付金、御船町地域医療介護総合確保基金事業補助金秋只公民館改修工事543万6,000円、みなし仮設住宅転居費用助成補助金970万円、みなし仮設住宅民間賃貸住宅入居支援助成補助金880万円、応急仮設住宅転居費用助成補助金2,270万円、公営住宅入居助成事業補助金1,420万円。28節、繰出金、国民健康保険特別会計繰出金2億151万7,354円、129ページをお願いします。介護保険特別会計繰出金介護分2億9,299万3,000円、介護保険特別会計繰出金包括分1,955万5,000円です。

2目、社会福祉施設費。支出済額235万5,810円。主なものは、1節、報酬、町民憩の家非常勤職員報酬131万7,120円です。

3目、老人福祉費。支出済額1億3,957万8,224円です。主なものは、19節、御船町社会福祉協議会運営補助金1,960万円と、131ページをお願いします。老人ホーム入所措置費1

億680万1,346円です。

5目、高齢者コミュニティセンター管理費。支出済額144万5,922円。主なものは、コミュニティセンター指定管理者指定管理料83万4,000円です。

6目、障害者福祉費。支出済額4億6,855万499円。133ページをお願いします。主なものは、13節、委託料、上益城地域活動支援センター事業委託料680万円と、135ページをお願いします。20節、扶助費、障害福祉サービス費等事業費3億938万4,563円、障害児通所給付費等事業費7,963万2,852円です。

○町民保険課長（宮崎尚文君） 同じく134、135ページになります。7目、国民年金事務費です。支出済額701万6,580円です。136、137ページをお願いします。人件費のほか主に13節、委託料の国民年金システム改修委託料44万1,120円となります。

8目、後期高齢者医療費。支出済額3億4,314万3,976円です。これは、19節の熊本県後期高齢者医療広域連合負担金の2億6,569万2,428円と、28節の後期高齢者医療事業特別会計繰出金の7,745万1,548円です。

○子ども未来課長（田中智徳君） 同ページ、2項、児童福祉費について説明します。1目、児童福祉総務費。支出済額1億9,472万3,043円です。139ページを御覧ください。主なものは、13節、放課後児童健全育成事業委託料、平成31年度から高木学童が分裂して1クラブ増え、全10クラブへの委託料で5,310万9,000円、並びに嘉島・甲佐町3町合同で実施しています病児・病後児保育事業委託料744万4,000円、141ページを御覧ください。5年を1期として策定を義務付けられています子ども・子育て支援事業計画策定業務委託料になりますが、211万7,500円になります。20節、扶助費、中学3年までを対象とする子ども医療費5,779万6,731円です。また、子育てのための施設等利用給付費171万2,500円は、幼児教育無償化による認可外保育施設等の利用料の一部負担金になります。

2目、児童措置費。支出済額2億8,030万5,668円です。主なものは、20節、扶助費の児童手当で2億8,013万円になります。

3目、児童福祉施設費。支出済額7億8,638万2,511円です。147ページを御覧ください。主なものは、15節、工事請負費、これは老朽化が進む若葉保育園の6件の工事になりますが、6件中3件はエアコン取替え工事で292万5,760円、また19節、負担金補助及び交付金の私立保育所認定子ども園運営費6億1,495万3,196円、149ページを御覧ください。町内3園で実施している障害児保育事業補助金356万4,000円です。

4目、ひとり親福祉費。支出済額280万4,160円。主なものは20節、扶助費のひとり親家庭に対する医療費支援で276万8,160円。

5目、障害児福祉費。支出済額54万9,450円です。これは13節、巡回支援専門員整備事業委託料になります。

以上で、2項、児童福祉費についての説明を終わります。

○福祉課長（西橋静香君） 続きまして149ページをお願いします。3項、1目、災害救助費。支出済額1,369万7,339円、151ページをお願いします。主なものは、20節、扶助費、熊本地震災害に係る住宅応急修理事業172万8,000円と23節、災害援護貸付金償還金848万4,200円です。

以上で、3款の説明を終わります。

○議長（池田浩二君） お諮りします。ここで13時まで休憩を取りたいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（池田浩二君） 異議なしと認めます。これより午後1時まで休憩いたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

午前 11時53分 休憩

午後 1時00分 再開

~~~~~ ○ ~~~~~

○議長（池田浩二君） 休憩前に引き続き、会議を再開します。

質疑を行います。3款、民生費について、質疑はありませんか。

○3番（宮川一幸君） 成果説明書でお伺いします。41ページです。アニバーサリーチケット事業の件でお伺いします。この中で、実績で800枚交付されていますが、633枚の利用という形で、使用が約8割ぐらいで、あと20%使っていないという形で実績があつておりますが、結局町からのお祝い金という形で差し上げていると思うんですが、この100%に近い利用率がなかったのは何か原因があるのでしょうか、お伺いします。

○こども未来課長（田中智徳君） お答えします。

お配りした方々に意見を聞くことはできないんですけれども、こどもスマイルチケットの例でいきますと、もらっていたことを忘れていた、期間が長ければ長いほどしまい込んで使うことを忘れていたというところで、多分そういう理由ではないかと思えます。

- 3番（宮川一幸君） こういった結局結婚とか出産のお祝いという形で町からせっかく上げていますので、本当はもう少し上げてもいいのかなという形で、町長も子育て世代への手厚いのを大分前面に押し出されているので、せっかく上げますので、利用についての普及とか、そういったのを今後検討していただきたいと思います。よろしくをお願いします。
- 子ども未来課長（田中智徳君） 貴重な御意見ありがとうございます。藤木町長も子育て支援には力を入れられて、今現在、郡内でも子育て支援事業は大変手厚いという情報もありますので頑張っているところではあります。あとは窓口で町民案内係に、渡すときに使用期限のアナウンスをもうちょっと詳細にさせていただきたいということをお願いをしたいと思います。
- 10番（田上 忍君） まず126ページですが、熊本県地域医療関係で秋只公民館の改修があります。秋只公民館と上野分館と御船分館ですか、3つの工事がありますが、この原資を教えてください。
- 福祉課長（西橋静香君） この補助事業の原資は、地域医療介護総合確保基金で、国が消費税財源を活用して各都道府県に基金として交付されています。町は県から直接この補助金をいただいて10分の10の事業になります。
- 10番（田上 忍君） それはトータルで1,479万円のですかね。
- 福祉課長（西橋静香君） 決算書の51ページにある県の歳入のところの1,479万円の金額がそれに当たります。
- 10番（田上 忍君） 125ページの一番下にある、この上野分館の費用というのは、これはどこから出ているのですか。
- 福祉課長（西橋静香君） 設計に係る費用は町の単費の事業として支出しております。
- 10番（田上 忍君） わかりました。あと、いろいろここは補助金だったり委託費だったり、工事請負費だったり分かれているんですが、これは何か工事の内容が違うとか、そういうことでそういうふうになったのでしょうか。
- 福祉課長（西橋静香君） 公民館分館に関しましては町の財産ですので、町が直接工事請負費で工事をします。地区の集会所や地区の公民館に関しましては、地域に補助金で支給をして、その地域の中で大工とかを工面して工事をしていただくような事業としております。
- 10番（田上 忍君） あと、ストレートに聞きますが、この3つの公民館ですけど、トイレの改修はどういうふうになったのですか。

○福祉課長（西橋静香君） お答えします。

上野公民館分館に関しましては、トイレの合併浄化槽は設置しておりません。上野分館、秋只に関しましてはトイレの設置と合併浄化槽の設置を工事の内容にしております。

○10番（田上 忍君） 合併浄化槽は設置してないということは、改修はしなかったという取り方でいいですか。

○福祉課長（西橋静香君） 御船分館に関しましては、希望する工事の内容に合併浄化槽の設置について計画がなかったということと、御船分館ですので、下水道が整備されておりますので、直接下水道につながっているトイレであったと思います。上野分館は合併浄化槽を設置しております。

○10番（田上 忍君） わかりました。次行きます。129ページに町民憩の家の草刈り委託料がありますが、これは不用額で上がっているんですけども、実際には草刈りというか、この予算で足りたのでしょうか。

○福祉課長（西橋静香君） この町民憩の家の草刈り等の委託料につきましては、6月の補正で補正をして承認していただいております。それから草刈り、竹の伐採等を実施しております。年に2回シルバー人材センターで作業に入っております。不用額がこの金額発生しております。

○10番（田上 忍君） 担当課としては町民憩の家は何度か視察というか、見に行かれていますのでしょうか。草刈りは年に2回ということですけども。それで足りると思っておりますか。

○福祉課長（西橋静香君） 令和元年度につきましては、年度の途中で年に2回しか、シルバー人材センターが忙しくて入れなかったと思います。今年はそれ以上、年間庭の様子を見ながらシルバー人材センターで草刈りに入っております。

○10番（田上 忍君） 草は雨が降ったらすぐに伸びてくるし、年に2回ぐらいではとても間に合わないと思います。そして今、いろんなサロンとかで町民憩の家は利用されていると思いますので、これからもちょくちょく見に行つて必要なときは草刈りをやってほしいと思うところです。

次ですが、131ページに町のシルバー人材センターへの補助金が136万円上がっていますけれども、これはどういうものに使われているのでしょうか。

○福祉課長（西橋静香君） お答えします。

シルバー人材センターの登録会員の雇用の促進事業や人件費、シルバー人材センターの事務局の方の人件費の一部を補助しております。

○10番（田上 忍君） これはやはり町が補助しないと運営がうまくいかないということで補助されているのですか。

○福祉課長（西橋静香君） シルバー人材センターの総会等に行きますと、やはり町の補助があつて運営が成り立つという説明を受けておりますので、必要な予算だと思っております。

○10番（田上 忍君） 今の課長の答弁だと、そこの総会に行つて聞いているとそう感じるからと言われたんですけど、向こうから必要だからこれだけ補助をお願いしますという依頼は来ているのですか。

○福祉課長（西橋静香君） 一応、補助金は出しますので、実施計画書を提出していただいております。

○10番（田上 忍君） 大体わかりました。あと150ページになりますが、熊本地震災害に伴うコンテナハウスのリース料と上がっております。このコンテナについては、今後どういふ利用の仕方を考えられているのでしょうか。

○復興課長（島田誠也君） お答えします。

コンテナハウスの今後の利活用についてですが、現在市内でまだ協議中でございます。具体的な利活用方法についてはまだ決まっていないという状況になっています。

○10番（田上 忍君） 今、仮設住宅として使つて、そのまま置いてあるんですが、この後、その利活用が決まるまではどこに置かれるのですか。

○復興課長（島田誠也君） 当面は現在の位置に、リースの期間が来年の1月31日までありますので、しばらく置かせていただいて、その後利活用を決めて移動をしたいと思っております。

○10番（田上 忍君） わかりました。利活用が決まったらまたお知らせ願いたいと思います。

ページは前後しますが、138ページに、病児・病後児保育事業とあります。利用人数が昨年に比べると142から97と減っております。その中でも、嘉島町と甲佐町は減っているんですが、これは何か原因というか、その理由等がわかれば教えてください。

○こども未来課長（田中智徳君） お答えします。

嘉島町は熊本市に近い関係もありまして、小児科もそちらにありますので、嘉島町はそういう理由で減っているかと思っております。すみません、甲佐町はそういう事情は把握してお

りません。

○10番（田上 忍君） この利用者の数によって、それぞれの町の負担金というのが変化するのでしょうか。

○こども未来課長（田中智徳君） 一応、3町でやっておりますので、町の負担金は国の補助金は3分の1ですけれども、その3分の1の分の2分の1を3町で均等割、残りの半分を3町で前年の利用率で掛け合わせて利用が多い分負担が大きいということで、毎年御船町が負担が一番大きいということになります。

○10番（田上 忍君） もう1つ、最後の質問になります。学童保育の人数がそれぞれこの成果説明書に出っていますが、その中で、滝尾の学童については、利用者が11人ということで、人数が少ないわけですけれども、町からの補助金というのはほかの学童と同じように出されているのでしょうか。たしか人数によって学童の保育所の段階があったかと思うんですけど、10人から20人までは、結構補助金の率が少なかったと思うんです。そのあたり、実際に学童に渡していた補助金というのは、どうでしょうか。ほかの学童と変わらないのでしょうか。

○こども未来課長（田中智徳君） お答えします。

以前、議会で質問があったかと思うんですけれども、まず基準額というのがありまして、この基準額は各学童の前年の実績額、これで請求を上げてこられます。ですから町から幾らという指定はしません。ただ、基準額がありますけれども、申請が上がってきた分と基準額で少ないほうを採用していきます。あとは加算費というのが何種類かありまして、御船町の場合は、障がい児の子どもを受け入れているということで、障がい児の受け入れの加算と、あとこれは高木学童ですけれども、職員の処遇加算費というのがあります。こちらを請求されておりますので、以前質問がありましたけれども、嘉島、高木の2つと七滝中央、この石村先生がされているところは、すべての加算費を請求されているので、高くなっているということになっています。

○10番（田上 忍君） ということは、学童で必要なものは、町としては補助していると取ってよろしいですか。

○こども未来課長（田中智徳君） 要望額はすべて要求を県に申請をして、各学童に委託費として渡しております。

○5番（田上英司君） 131ページの真ん中付近ですが、老人ホーム入所措置費、敬老祝い金

という金額が出ております。高齢化社会を迎えている今日、高齢者の方々にこれだけ御支援をするということは非常に素晴らしいことだと理解した上で、私自身も高齢者病院等職員であった関係上、この入所措置に関する費用はどのような形でどこに、誰に支払われるのか、御説明いただければと思います。

○福祉課長（西橋静香君） 老人ホーム入所措置費につきましては、個人の所得に応じて入所費用の自己負担額がある方とない方とあります。措置費として、まずはお一人幾らというのを、それぞれ御船町であればオアシス、郡内に今、益城町の花へんろ、甲佐町に緑川荘、あと山都町にもありますが、そこには入っておられません。熊本市内のライトホームというところにも入所されておられます。合計、年間に528延べ人数の方が入所なさっておられます。措置費として、各施設にお支払いをする形をとっております。

○5番（田上英司君） それでは、御船町在住の高齢者の方々が基本的には家の近くがよろしいでしょうけれど、入れないということ等いろいろな理由があって、熊本市を含めた他町村の老人ホームに入った場合でも、この措置費というか、助成をしていただけるという認識でよろしいですか。

○福祉課長（西橋静香君） 同じ措置費で入所ができる形になります。自己負担も一緒です。

○2番（井藤はづき君） 決算書の139ページです。成果説明書ですと38ページになるんですけども、地域子育て拠点事業の利用者数が年々減少しているようですが、これについて、理由は何でしょうか。

○子ども未来課長（田中智徳君） お答えします。

こちらは、子ども・子育て事業計画書にも出ていますけれども、女性の就業率が伸びています。このことによって復職される期間も早くなって、子どもをおおむね6カ月から8カ月ぐらいまでの間に保育所に預けられます。それでこちらの利用が減っていると。逆に0～1歳児、こちらの保育所が、以前申し上げましたけれども増えているというところで、子どもを預ける期間が短くなったということで減っているということになります。

○2番（井藤はづき君） そうしましたら、保護者の方の就業機会が増えたことで、こちらの子育て施設のゆうゆうに行かれる機会が減ったということですね。わかりました。

もう1つ質疑をします。決算書の149ページです。巡回支援専門員整備事業の委託料というのが出ていますけれども、これについてももう少し説明をお願いします。

○福祉課長（西橋静香君） お答えします。

巡回支援専門員整備事業は、上益城地域療育センターである特定非営利活動法人御船でこぼこ会に委託している事業です。障がい児の地域生活を支えるための療育指導と相談を一体的に実施するものです。保育所等の施設での巡回支援を実施し、発達やかかわりが気になる段階から早期に支援を行うものです。

○2番（井藤はづき君） こちらはでこぼこ会だけですかね。巡回支援として来られるのは。

○福祉課長（西橋静香君） 巡回支援専門員として、でこぼこ会からお二人ほど相談員の方がいらっしゃると思います。

○2番（井藤はづき君） 私の勘違いだったと思うんですけど、ほかの支援学校とかからもいらっしゃっているのかなと思ったんですけども。それは違いましたか。

○福祉課長（西橋静香君） 町が委託している分に関しましては、この巡回支援専門員の戸別訪問や保育所訪問に関しましては、この上益城地域療育センターから訪問していただいている事業になります。

○2番（井藤はづき君） 多分、学校と混同していたのかなと思います。こちらは要請があったときのみ行かれるのか、それとも定期的に巡回支援相談員を派遣する、1カ月に1回とか、そういう頻度が決まっているのか、そちらはどうでしょうか。

○福祉課長（西橋静香君） お答えします。

基本的には、学校や保育園等から要請があった場合に巡回訪問し、障がいの早期発見対応のため職員や保護者に対する助言等が行われます。上益城郡内では、年に2回、就学前の年中児に5月から6月にかけて、年長児に対して10月から11月に幼稚園や保育園等を巡回訪問をされております。

○2番（井藤はづき君） こちらで、149ページに不用額が40%ぐらい出ていますので、保育所の先生方によっても認識の違いとかもありますし、こちらから積極的に月に1回とか、そういう頻度を決めて派遣し、支援の必要な子どもたちを早期に発見し、療育につなげるという手立てが必要かなと思いますけれども、そういう点については、いかがでしょうか。

○福祉課長（西橋静香君） 町で実施される1歳半健診、3歳児健診などで、気になるお子さんなどの早期発見には、上益城地域療育センターから相談員の方が健診の会場に来られて、お母さん方との面談をされております。その方々が、保育園に入園されているところには保護者の承諾を得て一緒に訪問をし、巡回相談をなさったりとか、あるいは保護者が希望して巡回相談を希望される方もいらっしゃるということです。なので少しずつ保護者から

この相談を利用したいという方が増えてきているのではないかと思います。

○2番（井藤はづき君） 先生方もそうですし、保護者の間でも認識の違いとか、なかなか子どもは支援が必要なんだけれども、親御さんはそれを受け入れられないという方もいらっしゃると思いますので、できるだけこちらからのアプローチというのも増やしていただけたらと思って質疑いたしました。

○9番（福永 啓君） 140ページです。先ほども質問がありましたけれども、アニバーサリーチケット、これは成果説明書は41ページです。この成果の利用枚数のうち、双方が町外という方、御船に何の縁もゆかりもない方、この方に対する配布は何枚になっていますか。

○こども未来課長（田中智徳君） お答えします。

平成30年度と同様で、住登外の方々は7件の婚姻届の提出がありまして、7件、お渡ししております。

○9番（福永 啓君） 少ないですね。前回も言いましたように、これはすごい面白い取り組みで、もうこのアニバーサリーチケット狙いでもいいと思うのです。5,000円狙いでですよ。市内の人たちがここに来ようと。そしてここで出してくれば、ここが思い出の地になるわけですから、それは5,000円以上のはるかな大きな価値があると思います。こういうことはあんまりやってないからですから、ほかのところは。

そういうことに対して、何か積極的な取り組み等を考えてないんですか、課長。

○こども未来課長（田中智徳君） お答えします。

以前にもいろいろ御提案いただいて、広報等でもPR、あとホームページです。あとは婚姻ということなので、まずは婚活です。こっちの事業はうちだけでできるものではありませんので、関係課と連携をとって今後PRをしていきたいと思っております。

○9番（福永 啓君） これにつきましては、ぜひ独自の取り組みを町外に広めていただきたい。そして御船を思い出の地にしていきたいと思っております。

148ページ、延長保育に対するのがあります。これもやはり去年もお聞きした部分があるんですが、いかがですか、町内で日曜・祝日・夜間、この保育は現在でも行われているところはありますか。

○こども未来課長（田中智徳君） これも現在行っているところはあります。あとニーズもありません。あと、前回お答えしたとおりです。保育士不足、昼間の保育士も今私立が2園、公立1園、保育士不足で今困っています。夜間も保育士が必要となりますので、こち

らは厳しいのかなど。あとはニーズ次第で今後考えていきたいと思います。

○9番(福永 啓君) 私がお聞きした範囲ではニーズはあるんです。そのニーズを誰が代行しているかと、おじいちゃん、おばあちゃんとか、実家なんです。そこに置いてくる、置いてくる。皆さんそうです。どうするんですかと、本当はそれがいいのか悪いのか、今はそこで埋められていますけど、将来的にそれが埋められなくなってきているんです。熊本市内がそうです。御船町も必ずそうやってきますので、これはニーズはあるんだけど、今それを埋めているところがある。それが十分ではなくなってくるんです、必ず。ですので、そのところはきちっと把握した上で、これに対する取り組みも考えていただきたい。

私たちは夜によそへ行きますでしょう。女性の方とか男性の方いらっしゃるでしょう。お子さんをお持ちの方はいらっしゃるんです。いるんです。ということ自分たちがわかるわけですから、ぜひそれについては検討していただきたいと思います。

○こども未来課長(田中智徳君) 今後、もうちょっと詳しい情報収集をして、考えていきたいと思います。

○議長(池田浩二君) 質疑なしと認めます。

次に、4款、衛生費について説明を求めます。

○健康づくり支援課長(作田豊明君) 4款、衛生費について御説明いたします。150、151ページをお願いします。1項、1目、保健衛生費です。支出済額2億1,205万578円です。主なものは職員の人件費と13節の委託料の在宅当番・救急医療情報運営委託料86万7,000円です。

次に15、153ページをお願いします。2目、予防費です。支出済額4,007万6,603円です。主な支出としましては、13節、委託料の予防接種委託料1,496万4,330円となっています。

次に154、155ページをお願いします。3目、地域活動支援費です。支出済額202万2,655円です。主なものとしまして、1節の報酬で健康づくり地区推進員82名分の報酬141万2,000円です。

次に、156、157ページをお願いします。4目、母子保健費です。支出済額1,900万7,521円です。主なものは1節の報酬の非常勤職員報酬で母子2名分の258万6,530円と、8節の報償費で、乳幼児健診等従事者9名分の謝金269万1,000円と、13節、委託料で、妊婦健診委託料の906万8,306円です。

次に158、159ページをお願いします。5目、健康増進費です。支出済額2,794万9,519円

です。主なものは13節の委託料、健診・検査委託料2,474万5,911円です。

6目、保健センター管理費です。支出済額176万302円です。主なものは、11節の需用費です。保健センターの排煙窓の修繕費、16ページをお願いします。31万7,520円と、13節、委託料で保健センター清掃委託料91万5,600円です。

以上、健康づくり支援課からの説明を終わります。

○環境保全課長（緒方良成君） 引き続き衛生費の説明をいたします。160、161ページをお願いいたします。7目、環境衛生費。支出済額6,362万3,118円です。主なものは、8節の報償費、リサイクル推進報償金が270万円です。162ページをお願いいたします。19節、負担金補助及び交付金の熊本中央広域事務協議会負担金1,210万円、一般廃棄物処理施設整備促進協議会の負担金です。小型合併処理浄化槽設置補助金882万6,000円、熊本地震に伴う小型合併処理浄化槽設置補助金1,014万2,000円です。

8目、公害対策費。支出済額46万4,422円です。主なものは、13節、委託料の特別収集委託料が43万6,000円です。

2項、清掃費。1目、清掃総務費。支出済額4,238万1,000円です。13節、委託料の一般ごみ収集委託料が4,238万1,000円です。

164ページをお願いいたします。2目、塵芥処理費。支出済額1億3,355万1,000円です。19節、負担金補助及び交付金の御船町甲佐町衛生施設組合負担金となります。

3目、し尿処理費。支出済額5,628万4,000円です。19節、負担金補助及び交付金の御船地区衛生施設組合負担金となります。

以上、説明を終わります。

○議長（池田浩二君） 質疑を行います。4款、衛生費について質疑はありますか。

○4番（福本 悟君） 2点について伺います。成果説明書の50ページになります。狂犬病関係の予防事業について伺わせていただきます。実績で、注射済票交付手数料648件とあります。町には登録が何頭あって、多分100%だと思いますが、この中に未接種の犬についてはどんな対応をされていますでしょうか。

○環境保全課長（緒方良成君） お答えします。

狂犬病の予防接種につきましては、年に1回の接種となっております。4月と10月あたりで行っておりますけれども、案内は差し上げておりますので、そこで接種をしていただくように広報しているところです。

○4番（福本 悟君） ただ今、緒方課長から回答いただきました。100%に近い接種がされているものだろうと推測をいたします。

次に57ページの、成果説明書の不法投棄防止事業対策ということで、金額についてもわずかな金額と言っているのかはつきりわかりませんが、実績が23件、まずこの実績について説明を求めたいと思います。

○環境保全課長（緒方良成君） お答えします。

実績ですが、不法投棄をされた箇所になります。五丁目が2件です。上辺田見、中辺田見、下辺田見、荒瀬、牛ヶ瀬1区、牛ヶ瀬2区が4件です。玉虫、下鶴、西木倉が2件です。南木倉、落合が2件、下高野、高山、小坂、秋只、上田代となっております。

○4番（福本 悟君） ただ今、たくさんの箇所の説明をいただきました。今の分がこの歳出の12節、不法投棄ごみ搬入手数料の2万8,000円が含まれているというところで理解していいですか。

○環境保全課長（緒方良成君） お答えします。

ここの2万8,000円は、家電以外の粗大ごみであったり、可燃ごみであったりとか、そういうものが2万8,000円になります。

○4番（福本 悟君） ただ今の最後の確認ですけれども、この事業の成果です。毎年お金を出されると思いますが、対前年でいきますと、どんな成果が出てきていますでしょうか。

○環境保全課長（緒方良成君） 対前年比ということですが、平成30年度の不法投棄の件数というのは15件でした。今回は23件ということで増えております。ただ、今回はごみステーション等において、本来出せないごみが、家電製品であったりとかそういうものがごみステーションのところに捨ててあった、それも件数に入れておりますので増えております。ただ、この実績につきましてはパトロール、あとは広報活動も行っておりますけれども、前年度よりもパトロールの回数は増やしております。しかし、件数というのは一概に減っていきませんので、そこら辺をもうちょっと改善をしていかなければならないと感じております。

○9番（福永 啓君） やはり162ページです。不法投棄の決算のところなんですけど、課長の今の答弁でもありました、ステーションのところに適切ではないごみがあって不法投棄になっているということがありましたが、私がお聞きしたところで、例えば、御船町の場合は大型ごみ、粗大ごみ、これは月に1回、きちんと無償で回収することになっています。

ところが熊本市内になりますと、これは有償です。それで、熊本市内から御船町の回収日に合わせて、引っ越しの時期とかに箆箆とか、そういうものが、特に小坂とか高木とか、近いところが多いとお聞きしたんですけど、そのあたりに、回収日に合わせて運ばれて、そのステーションに置かれているのではないかという話をお聞きしたことがあるんですが、そのようなことがありますか。そういう事実は把握されていますか。

○環境保全課長（緒方良成君） お答えします。

大型ごみ、粗大ごみの持ち込みについての把握というのは行っておりません。というか、把握はできていないというのが状況であります。本来は粗大ごみというのは、町内外問わず、他地区からの持ち込みというのは禁止されておりますので、ごみステーションにおきましても、他地区からの持ち込みの禁止の看板等を今設置して対応というのをしております。

○9番（福永 啓君） 実際ごみ収集の方からもお聞きしたことがあるんです。どう考えてもこれは違うだろうと。しかも引っ越しの時期とか、そういうときに市内からとか他地域からと思われる粗大ごみが、こそっと持ってきて置いてあると、その時期に合わせて。そういうことがあると、それは全部御船町が負担しなければならなくなってくるので、その聞きとり調査とか実際にされてみたほうがいいと思います。これはおかしいのではないかとか、どれだけの量があるのかとか。結構ありますよという話もお聞きしましたので、それについて、1回調査とか何か聞き取りとかを行っていただければなと思いますが、いかがでしょうか。

○環境保全課長（緒方良成君） お答えします。

粗大ごみにかかわらず、ごみを出された時点で、誰が出されたというのがこれはわかりません。名前が書いてあればいいのですが、本来不法投棄ですので、誰が捨てたかというのを追跡して、その不法投棄者に本来処分をしていただかなければならないのが現状でありますけど、その追跡というのが、そこまで聞き取りをするというのは非常に難しいところがありますので、今後、他町の粗大ごみの有料化というのも検討しながら、対応を検討していきたいとは考えております。

○9番（福永 啓君） 御船町の粗大ごみにはステッカーを貼って出すとか逆の方法しかないとおっしゃったように逆の方法しかないかもしれないんですよ。向こうから来るのが、夜にこそっと持ってくるんです、トラックか何かで。そして置いて帰ってくる。市内だっ

て同じ熊本ナンバーですから、だからわからないと。明らかにこれは違うだろうというところが置いてこられるそうです、でっかい引っ越しごみみたいなのをですね。それをやはり防止するためには、御船町の粗大ごみに関するステッカーとか有料化とか、そういうのも今後検討していかなければならないかなと思いますが、粗大ごみの有料化とか、そのあたりはお考えはございますか。

○環境保全課長（緒方良成君） お答えします。

確かに有料化というのは1つの手でありますので、他町の事例等も、これは参考にしたいとは考えております。

○3番（宮川一幸君） 成果説明書でお伺いいたします。48ページです。予防接種事業の件です。緊急風しん抗体検査事業ですが、この中で実績が令和元年度については、一番最後なんですけど、138人で約20%の受診率という形で、とっても受診者が少ないという形で、実際令和元年度の対象者も令和3年3月31日まで受診を可能としたとは書いてあるんですけど、この受診されなかった方への呼び掛けとか、そういったのはどうされる予定でおられますか。

○健康づくり支援課長（作田豊明君） お答えします。

この緊急風しん抗体検査事業につきましては、令和元年度から始まった事業です。今議員が意見をされたように、対象者が709名です。取りかかりが遅かったというより、周知が遅かったというのもあるんですけども、この対象者につきましても、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれまでの対象者に対してこの検査を受けていただくんですけども、クーポン券を配布しまして、再三、うちのほうからも2回広報等で周知をして、周知を図っているところです。今後も、令和3年まで続けられますので、これの周知を続けていきたいと思っております。

○3番（宮川一幸君） ちょうどこれが私たちの年代からがスタートする年代なので、まだ私たちにクーポンが来ておりませんが、来年度ぐらい来るのかなと思っているのですが、せっかくこういった形で国の事業でしてあるので、一人でも多く受診をいただけるような形のPRをよろしくお願いします。

○10番（田上 忍君） 今と同じところですよ。この風しんの抗体検査、町としては絶対受けてほしいと願っているのですが。

○健康づくり支援課長（作田豊明君） この事業も国からの申し入れで始まっておりますので、

これはぜひ受けていただきたい。保健所におきましても、この年代、昭和37年から54年にかけて、この抗体検査を行った原因が、この時期にされてなかったというのがございますので、この事業に取りかかっているところです。もしこの方が発症した場合が、もし妊婦に発症した場合がその影響が多分に起こるし、その関係も出てきますので、またコロナの影響も出てきますので、ぜひ受けていただきたいということです。

それと、先ほど宮川議員がおっしゃっていましたように、令和元年に、昭和47年4月2日から昭和54年4月1日の終わりが令和元年度に始まりまして、宮川議員の昭和37年からの生まれの方につきましては令和3年度に、昭和37年4月2日から昭和42年4月1日生まれの方にクーポン券を配布するという予定で計画しております。

○10番（田上 忍君） そうやって必要と思われるのだったら、これがどういう影響があるのか、もっとアピールの仕方があるんじゃないかと思います。その辺を考えながらやってほしいなと思うところです。

次に、成果説明書の57ページ、さっきと同じです、不法投棄のところですが、いったいどういうものが捨てられていたのでしょうか。

○環境保全課長（緒方良成君） お答えします。

家電製品、家財道具、タイヤ、可燃ごみ等が不法投棄として捨てられておりました。

○10番（田上 忍君） さっき宮川議員のときに答弁を聞いていて、よくわからなかったのですが、具体的にではどういう対処というか、この不法投棄防止のためにどういうことをされますか。

○環境保全課長（緒方良成君） お答えします。

今現在行っているのは、パトロールと啓発活動のための広報による啓発活動、それと看板の設置です。これを今現在行っているところです。

○10番（田上 忍君） 今言われた看板ですけれども、看板については、その地域から欲しいと言われたときに持っていくということで、前は聞いたと思うんですが、町から積極的に、ここには看板を付けようということもやっていますか。

○環境保全課長（緒方良成君） 町から設置するというところはしておりません。町もかなり広い中での看板設置ということになりますので、どこに設置するというのは非常に難しいかと思っておりますので、地元から要望があったところに設置をしているということです。

○10番（田上 忍君） 同じところに何回かそうやって不法投棄をされたら、そこは必要など

ころではないかと思えます。そういうところは地元からなくても設置するべきではないかと思えますが、どうですか。

○環境保全課長（緒方良成君） お答えします。

1回不法投棄されたところには現場等の確認をしておりますので、そこでの看板の設置等を行っているところです。

○10番（田上 忍君） その看板は、今実際にはまだ幾つか余っているんですか。

○環境保全課長（緒方良成君） 令和2年度につきましては、まだ余っております。

○10番（田上 忍君） ぜひ必要などころには付けていってほしいと思えます。

次、成果説明書の58ページ、一般ごみ収集ということで、このごみの量については、毎年の推移というのはどうなっていますか。

○環境保全課長（緒方良成君） 今年度の可燃ごみにつきましては、可燃ごみが2,879トン、資源ごみが3,180トン、粗大ごみが186トンで、これは減少しているとか増加しているとか、まあ減少したり増加したりという、そういう繰り返しになっております。

○10番（田上 忍君） ということは大体横ばいということで見ていいですか。

○環境保全課長（緒方良成君） そういう数値であろうかと思えます。

○10番（田上 忍君） これについても、できれば減少方向に、皆さんに努力してもらおうということを何か考えていかれたらどうかなと思うところです。

そして、この可燃ごみですけど、焼却場で燃やされて、その後灰として産廃になると思うんですが、その産廃になった灰は今どこへ持っていかれていますか。

○環境保全課長（緒方良成君） お答えします。

これは御船町甲佐町衛生施設組合の中で処理されておりますので、管理としては、組合員になっておりますので、こちらでは把握しておりません。

○町長（藤木正幸君） 御船町甲佐町衛生施設組合で焼却後に、灰は2つあります。1つは、北九州のほうにセメント材量として渡しております。その他につきましては、最終処分場に持って行っております。

○10番（田上 忍君） その最終処分場というのは県内ということでよろしいですね。

○町長（藤木正幸君） 昨年、このときまでは県内でした。今は倒産してしまいましたので、今は別なところに持って行っていきます。

○10番（田上 忍君） 業者名まではいいんですが、どこの県に持って行っていきますか。

○町長（藤木正幸君） 現在、九州内にはないということですので、九州から出ているというところまで把握していますけれども、その先は把握しておりません。

○5番（田上英司君） 決算書の157ページの一番下でございますが、扶助費です。妊婦健診の償還払いということで、不妊治療の助成金が載っております。これは少子化対策事業ということで、非常に素晴らしい事業ではあるんですが、御案内のとおり、不妊治療は保険適用がされません。これは全国的問題で、不妊治療で1回につき30万円、50万円、高額なお金がかかるという。しかも、聞いたお話によりますと、4回も5回も不妊治療をしても成功できなかったというお話も聞きまして、また仮に成功したとしても、また2人目が欲しい、3人目が欲しいということで、さらに不妊治療をしながら、子どもを作るということは、非常に御夫婦にとっては厳しい金銭的な問題が発生しているということで、全国的にこれが今話題になって、保険適用の動きの声は確かにあるんです。でも、今現在は、各自自治体に任せっきり。御船町も幾らかなりとも少子化対策事業として取り組んでおられると。これは素晴らしいことですが、何人がどうのこうのというのは、これは個人的情報ですからそういうのは要りませんが、もう少し金額を上げていただければと思いますが、いかがですか。

○健康づくり支援課長（作田豊明君） 先日この少子化対策について御説明しましたけれども、田上議員がおっしゃいますように、熊本県が独自でされている、この事業に取り組んでいまして、特定不妊治療につきましては熊本県、一般不妊治療については御船町が単独で5万円を限度でやっている事業です。金額の問題なんですけれども、これも今後少子化対策に向けて、町としても考えて、県も今一生懸命進めておられますので、対策を練っていきたいと思います。

昨日申し上げましたように、それ以外にも早産の予防対策事業で、妊婦の膣分泌物の検査等を行っております、そして、母子の歯科健診も一緒になって進めているところです。昨日の結果、3名の方が受けられまして、1人が無事にお産みになっておりますので、御報告しておきます。

○1番（中城峯雄君） 1点だけお尋ねします。163ページですけれども、小型合併処理浄化槽設置補助金882万6,000円計上されておりますけれども、合併浄化槽は約3割が補助されると聞いておりますが、申請数は何件あったのでしょうか。

○環境保全課長（緒方良成君） お答えします。

これは5人槽、7人槽、10人槽合わせて24件の申請がっております。

○1番（中城峯雄君） 下水道設備の予定がないところが補助金がもらえますよね。というと、下水道がないところの新築住宅が24件増えたというとらえ方でよろしいですか。

○環境保全課長（緒方良成君） お答えします。

この小型合併処理浄化槽、この決算の下に熊本地震に伴う小型合併浄化槽、これは地震によるものですが27件の申請もあっております。合わせて、新築になりますけど、地震のほうは建て替えということになります。

○2番（井藤はづき君） 3点ほどお伺いします。決算書の153ページです。こちらに予防費が出ていますけれども、委託料の不用額が430万円ほどあります。過去の予算も見てみたんですけれども、支出済額というのはそれほど変動していません。不用額が同じように上がっているような状態だったんですけれども、予算編成の時点で予算額を実際に支出される額に合わせて予算組みをして、唯一平成29年のときだけそのような予算組みになっていて、不足額が予備費から補填されるような形になっていたかと思えますけれども、そのような予算編成というのはされないのでしょうか。

○健康づくり支援課長（作田豊明君） お答えします。

今、153ページの中で、予防費の委託料で4,342万1,000円ということで予算を計上しております。この中で、予防接種委託料と、次の結核検査委託料、次のページの緊急風しん抗体検査委託料、そして第5期風しん予防接種委託料、予防接種広域化事業委託料、そして下のほうの健康管理システム改修業務委託料ということで、今この健診の委託料があります。分析したところ、今、私たちも、先ほど言われました緊急風しん事業につきましても、取りかかりが遅かったという御指摘のとおり周知をもう少し、初めの予算のとおりに行ったときの予算よりも20%という結果が出ているのが要因かなということで、3月にも1回勧奨したんですけれども、受診が少なかったということです。

それと、コロナ関係の感染対策で、病院への受診が極端に減ったということで、予防費の委託料の計算を見たんですけれども、12月から3月にかけて約250万円ほどの医療費の受診がなされなかったと、病院に行かれなかったのが現状だろうということで、今思っています。ただもう1つ、この委託料につきましては、町外の病院でも受診ができますので、その請求が2カ月遅れということで、3月で5月末の決算までに請求をされてくるということで、予算の削減も考えているんですけれども、もし不足した場合が困るということで

この予算が計上されたところです。今後、先ほど指摘がありましたように、しっかり予防接種については、コロナ対策にも関係してきますので、うちも執行をしっかりしていきたいと思います。以上の結果だと思えます。

○2番（井藤はづき君） 確かに、令和元年度から風しんの予防接種なども入ってきていると思うんですが、過去の推移から見て、毎年同じようなというほどでもないんですけど、不用額が出ていますので、調整はできるのではないかなと思ったところでした。先ほども言ったように、平成29年度では予備費から充てられるということもされているので、そういうこともできるんだなと思ったので、そういう質疑をしました。

次に行きます、決算書160ページから163ページにかけて、地域連携保全活動協議会についての費用が出ていますけれども、この事業の進捗状況について説明をお願いします。

○環境保全課長（緒方良成君） お答えします。

御船町地域連携活動保全計画ですが、これは里地・里山の保全を目的として、吉無田高原を中心とした田代地区の自然環境を保全するための地域連携保全活動計画の業務であります。令和2年に完了をしております。現在、公表に向けた準備を行っているところです。

具体的な事業内容としましては、非営利特定法人を中心とした、耕作地でブルーベリーとかソバの栽培、自然資源を生かしたフットパス等、観光交流等自然環境の保全に向けた環境教育、学習イベント等に取り組んでいくというものです。

○2番（井藤はづき君） そしたら、計画の策定は終了したということによろしいですか。

○環境保全課長（緒方良成君） 計画につきましては完了しております。

○2番（井藤はづき君） 最後です。決算書の165ページというか、この最後に、前年度までは水道費という項があったと思うんですけれども、こちらが今年からなくなっております。水道とかがすべて水道のほうに入ったという理解でよろしかったでしょうか。

○環境保全課長（緒方良成君） お答えします。

平成30年度は馬立地区、粒麦地区の水質検査の支出と、川内田地区のポンプの修繕を行ってまいりました。令和元年度につきましては、地区水道の補助の申請等がありませんでしたので、この決算書には記載されていないということです。

○2番（井藤はづき君） 別に会計が移動したとかではなくて、事業自体がなかったのが載っていないというだけということですか。

○環境保全課長（緒方良成君） ここは今言われるとおりです。

○議長（池田浩二君） 質疑なしと認めます。

お諮りします。ここで10分程度休憩を取りたいと思います。御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（池田浩二君） 異議なしと認めます。14時20分まで休憩いたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

午後2時09分 休 憩

午後2時20分 再 開

~~~~~ ○ ~~~~~

○議長（池田浩二君） 休憩前に引き続き、会議を再開します。

次に、5款、農林水産業費について、説明を求めます。

○農業振興課長（井上辰弥君） 5款、農林水産業費について、御説明申し上げます。決算書の164、165ページをお願いします。5款、農林水産業費。1項、農業費。1目、農業委員会費。支出済額1,450万2,918円。主な支出は、1節、報酬費の農業委員14名分の報酬費317万5,000円です。それと、農地利用最適化推進委員10名分の報酬費199万8,198円です。

166、167ページをお願いします。2目、農業者年金事務費。支出済額706万8,288円。主な支出は、2節、給料の職員1名分372万6,600円になります。

3目、農業総務費。支出済額5,015万4,267円。主な支出は、2節、給料、職員8名分2,451万4,140円になります。

168、169ページをお願いします。4目、農業振興費。支出済額891万8,959円。主な支出は、19節、負担金補助及び交付金の農業次世代人材投資事業補助金で、170、171ページをお願いします。個人2名と、夫婦1組への補助金450万円になります。

4目、農業振興費。こちらは繰越明許です。支出済額2,404万9,000円。主な支出は、19節、負担金補助及び交付金の担い手確保・経営強化支援事業補助金、こちらは2経営体分になります。

5目、畜産事業費。支出済額20万2,300円。主な支出は、19節、負担金補助及び交付金の4件で16万4,000円になります。

6目、農地費。支出済額8,321万2,371円。主な支出は、15節、工事請負費、甘木地区揚水機更新工事996万8,200円と、172、173ページをお願いします。16節、原材料費の農業用

施設補修資材費、こちらは9地区分239万2,260円。19節、負担金補助及び交付金の多面的機能交付金12組織4,348万9,538円と、農家の自力復旧支援事業交付金、こちらは復興基金です。59件、849万円と、小規模農業用施設水路・農道の早期復旧支援事業交付金、こちらも復興基金です。43件、742万9,000円になります。

7目、農地防災費。支出済額1,562万4,240円。天君ダム管理運営費になります。主な支出は、174、175ページをお願いします。13節、委託料の無線装置点検整備委託料343万6,800円と、附帯設備点検委託料の113万4,440円になります。

9目、農業振興地域整備事業費。支出済額9万8,012円、主な支出は、1節、報酬の農業振興地域整備促進協議会委員報酬17名分の6万8,000円になります。

10目、農業経営基盤強化促進対策事業費。支出済額347万8,978円、176、177ページをお願いします。主な支出は、19節、負担金補助及び交付金の認定農業者同友会補助金57万円と、認定農業者支援対策規模拡大促進事業補助金37名分、13.8ヘクタールで149万9,600円になります。

11目、経営所得安定対策事業費。支出済額556万3,074円。主な支出は、8節、報酬費、生産調整推進委員謝金69地区分136万円と、19節、負担金補助及び交付金の御船町地域農業再生協議会補助金280万6,000円になります。

13目、中山間地域総合整備事業費。支出済額112万4,650円。主な支出は、19節、負担金補助及び交付金の上益城中央2期地区県営中山間地域総合整備事業負担金78万5,400円になります。

14目、中山間地域等直接支払い制度事業。支出済額7,003万5,870円。主な支出は、178、179ページをお願いします。19節、負担金補助及び交付金の中山間地域等直接支払交付金31集落分、6,946万2,497円になります。

15目、地籍調査事業費。支出済額3,502万8,636円。主な支出は、13節、委託料の熊本地震に係る地籍調査成果の修正に係る委託料、こちらは高木、小坂、陣、豊秋、滝川地区になります。1,405万8,000円と、14節、使用料及び賃借料の事務支援管理システムリース料237万5,928円になります。

次に180、181ページをお願いします。2項、林業費。1目、林業振興費。支出済額2,731万9,830円。主な支出は、13節の委託料の森林管理システム委託料312万4,000円と、15節、工事請負費の林道赤松線改良事業716万5,848円と、182、183ページをお願いします。

19節、負担金補助及び交付金の熊本の森林利活用最大化事業補助金、こちらは41ヘクタール分、408万円になります。

以上で5款、農林水産業費の説明を終わります。

○議長（池田浩二君） 質疑を行います。5款、農林水産業費について質疑はありませんか。

○10番（田上 忍君） 成果説明書の60ページになりますが、簡単に言って、御船町のアイスのことです。御船町のアイスクリーム、あんまり見かけないんですけども、これは何か宣伝とか、そういうのはやっているのでしょうか。

○農業振興課長（井上辰弥君） お答えします。

こちらは、若手農業者が御船町農産物産品開発協議会を設立しまして、昨年4月下旬から販売を始めておりますが、今のところ販売先が観光交流センターにお願いをいたしまして販売をいたしております。それと、広告につきましては、役務費で14万7,000円付いておりますが、熊日のすばいす7月号、それとタウン情報クマモト、こちらは12月27日号に掲載しております。それと各イベント等で活動を行う予定でありましたが、昨年10月のビブレス広場の物産展以降コロナの関係で中止になっておりますので、今のところ開催はしておりませんが、今後また展開していきたいと思っております。

○10番（田上 忍君） せっかくこうやっていいものができていると思いますので、もっともっと何か宣伝できないものかなと思っております。ふるさと納税の返礼品とかには使えないのでしょうか。

○農業振興課長（井上辰弥君） お答えします。

若手農業者の集まりの中で、まず会の発足というときに、まず熊本地震からの農業復興というのが意思となっておりまして、最終的な目的としましては、販売の拡大もありますが、ふるさと納税の返礼品というところも視野に入れたところで今考えております。

○10番（田上 忍君） ぜひ、町を挙げてそうやって宣伝できないかなと思っております。

続いて、成果説明書でいくと74ページです。有害鳥獣の件が出ております。この中で、イノシシは目標400頭に対して400頭、シカが43頭に対して10頭、サルは10頭だったけれどもゼロということで、この中で、イノシシは目標頭数ちょうどになっているんですが、もしかしたらもっと実際には駆除できたんじゃないんですか。どうなんですか。

○農業振興課長（井上辰弥君） お答えします。

駆除につきましては、駆除隊3隊ございまして、真夏の暑い中でも駆除隊の皆様出役い

ただいております。そういった中で、昨年度400頭ということで、例年大体300頭前後でしたけれども、御活躍が本当に見えたところではないかと認識しています。実際もっと捕獲はお願いしたいところではございますが、皆様はやはり土日、仕事を持っておられて、なかなか出役される時間等もございませんが、この成果が出たことだけは素晴らしいことだと認識しています。

○10番（田上 忍君） こうやって目標頭数を達成したということですが、ということは、もっとももしかしたらとれているかもしれない。だったらもうちょっとこの補助の枠を広げてあげて、ここまで大丈夫よということで、予算を増やせないかなと思ったところですが、どうなんですか。

○農業振興課長（井上辰弥君） お答えします。

報償金につきましては、町の単費分につきましては、駆除隊の方々から年に3回ほど実績の報告が上がります。その2回目の11月下旬ぐらいに大体年度内での捕獲の推移を出しまして、補正予算で対応という形をとっております。国庫補助につきましては、鳥獣害被害防止対策協議会が事業を行っておりますが、こちらは予算の枠内、それ以上の増額はできないということで、それ以上、予算以上にとれた部分に対しては翌年度の申請に上乘せして行うという形をとっております。

○10番（田上 忍君） よくわかりました。あとは決算書の170ページに、マミコウロードに不法投棄があったということで出ておりますが、これは場所と、どんなものが投棄されていたかをお願いします。

○農業振興課長（井上辰弥君） お答えします。

場所につきましては、川内田橋の手前の滝尾寄りの広場周辺になります。不法投棄された品物につきましては、冷蔵庫が1台、それと家庭用ごみが数袋あっております。

○10番（田上 忍君） たしか冷蔵庫は持ち主を調べたけれども、結局わからなかったということだったですね。

○農業振興課長（井上辰弥君） 一応、何か証拠がないかということで調べてはみましたがわかりませんでしたので、そのまま産業廃棄物の処理業者に搬入しております。

○10番（田上 忍君） わかりました。ではもう1点です。同じ170ページに、甘木地区の揚水機更新とあります。この説明をお願いします。

○農業振興課長（井上辰弥君） お答えします。

こちらにつきましては、高速道路の側道、甘木橋にございますが、その下流にポンプ小屋がございます。こちらの管理につきましては、御船中央土地改良区が行っておられますが、揚水ポンプの耐用年数も大分過ぎまして、いろいろな故障が発生しているということで、更新でポンプ改修を1基、配電盤改修を1基、送水管を2基改修しております。

○2番（井藤はづき君） 2点お尋ねします。1点目が173ページです。こちらに公有財産購入費というのが出ていますけれども、全額繰越明許となっています。これについて説明をお願いします。

○農業振興課長（井上辰弥君） お答えします。

こちらは、昨年12月の補正で計上しておりましたが、事業内容につきましては九州中央自動車道の工事用道路として使用されていた、場所は足水地区になりますけれども、そちらの農道部分の買い上げということで、こちらは地権者と協議を行いまして、年度内に時間的にもありませんでしたので、登記等の手続が完了できなかったために繰越事業としております。

○2番（井藤はづき君） わかりました。もう1点です。181ページの先ほどの有害鳥獣捕獲の件で付け加えて質疑をしたいんですけれども、この計画頭数というのは誰が決めるんですか。

○農業振興課長（井上辰弥君） お答えします。

こちらは御船町鳥獣被害防止対策計画というのがございますが、そちらの中で400頭の計画を立てております。ただし、先ほど田上議員から御質問がありましたように、国庫の場合は400頭で毎年申請を上げておりますが、枠がありませんので、大体300頭前後の枠で配分をされております。

○2番（井藤はづき君） そしたら、国庫にはこちらから申請した頭数で交付金が受けられるということですか。

○農業振興課長（井上辰弥君） そうです。例えば300頭分の枠がきとって350頭捕れたという場合には、50頭分は翌年度の申請に上乘せして申請するということになりますので、捕獲頭数が配分以上に捕れたときには、毎年自転車操業ではありませんけれども、ぐるぐる回転していくという流れになります。

○2番（井藤はづき君） そうしましたら、有害鳥獣捕獲の計画があるということでしたけれど、それって、何か見直しが定期的に行われるんですか。

○農業振興課長（井上辰弥君） お答えします。

こちら昨年岩永議員から一般質問があつておりましたが、昨年の見直しの中では、国庫補助事業につきましても、ワイヤーメッシュを対象とするように見直しを行っております。

○2番（井藤はづき君） そしたら、400頭という数字が決められた頃と今では多分イノシシの全体の頭数とかも変わってきていると思うんですけど、頭数についての見直しというものも今後される予定はありますか。

○農業振興課長（井上辰弥君） お答えします。

こちらは総会の中に駆除隊の隊長、それからJ A、農業共済、県も入って、もちろん役場も入っておりますが、毎年総会を行っておりますので、その中で協議を進めてまいります。

○2番（井藤はづき君） 個体数調整において、ぜひ学識経験者も入れて、全体で何頭いて、年間これだけ捕れば確実に減っていくという何か、ちゃんとした根拠のある数字をぜひ出していただけたらと思います。

○農業振興課長（井上辰弥君） お答えします。

こちらは、御船町だけに在住しているイノシシではありませんで、よその町村からも入ったり出たりしている状況でありまして、ただ、井藤議員がおっしゃったように県にそういう個体のある程度の状況把握という形になりますが、という形も取れるという話を聞いておりますので、県にも連絡をとってみたいと思います。

○5番（田上英司君） 決算書の176ページの一番下、中山間地域等直接支払制度事業費の中で、179ページに移りますが、公用車リース料ということが書いてあります。この中山間地で公用車はどういう仕事に使われるのかなということをお尋ねします。

○農業振興課長（井上辰弥君） 中山間地域等直接支払交付金、こちらは中山間地域31の集落があります。その中で、協定農用地とありますが、そちらが5,900筆あります。公用車につきましては、毎年9月の1筆1筆の現地確認調査を行いまして、それとほかの耕作状況の調査とか、いろいろ行っておりますので、そのための公用車のリース料となっております。

○1番（中城峯雄君） 先ほどの田上議員の質疑の関連ですけれども、171ページです。一番下に、甘木地区の揚水機更新工事費、これは確かに実施をされて、ポンプ小屋は甘木橋の

下、御船町にあります。考えてみましたら、このポンプを活用しているのは、御船町の、私の田んぼも1枚ありますけれども、地権者は3人ぐらいで、約1町ですよ。あそこから揚げて、全部嘉島町の北甘木地区に全部、ポンプの点検もすべて嘉島町の人がされる。なぜ御船町が、よく考えてみましたら、何でこんなに払わないかんとかいということですか。いかがでしょうか。

○農業振興課長（井上辰弥君） お答えします。

こちらにつきましては、議員御指摘のとおりではございますが、管轄が御船中央土地改良区ということで、そちらの甘木ポンプの受益面積が20ヘクタールございます。その中に御船の方々が今言われたように3～4名入っておりますが、基本土地改良区の管理というところも含めたところで、御船町というか、うちで事業に着手したという経緯になっております。

○1番（中城峯雄君） 嘉島町は負担はないんですか。

○農業振興課長（井上辰弥君） ございません。御船町が負担割合につきましては、国が50%、県が14%、受益者であります中央土地改良区が18%、御船町が18%となっております。嘉島町の負担はございません。

○1番（中城峯雄君） 払われたので、でもそれはおかしいじゃないですかね。誰が考えてもおかしいですよ。そういうのを交渉せにゃいかんですたい。そういうことを後からでも取ってください。

○農業振興課長（井上辰弥君） こっちは内部で調査をいたしまして検討いたします。

○9番（福永 啓君） 185ページに竹関係の予算がちょっと出ていたりするんですが、やはり放置竹林問題、これに関する予算・決算が近年上がってこないような気がするんです。放置竹林等は御船町の長い間の課題でもあります。この放置竹林に関する予算・決算がないのはどうしてですか。そして、何か事業を計画しているのがあれば、お聞かせください。

○農業振興課長（井上辰弥君） お答えします。

放置竹林の対象事業につきましては、食べる竹・使う竹・魅せる竹生産支援事業補助金27万2,200円ありますが、こちらがまず水越地区で1つの組織の方が活動されておられます。こちらは県の単県事業です。次に、熊本県森林山林多面的機能発揮事業、こちらは国庫事業になりますが、こちらが2組織ございまして、御船町の牛ヶ瀬から四丁目付近、それと水越の有水地区で事業を展開されておられます。

○9番（福永 啓君） 若干このようにして予算化されて事業をされているようです。ただ、やはり放置竹林問題というのは、とても大きな問題ですので、それに対する御船町独自の事業、これは全部補助事業に御船町が参加するという形になっていますので、何か御船町が主体となった、機械を貸し与えて皆さんが使えるような、よく大分とかでやっていますよね、町が持つて。そのような事業等もぜひ農政課で考えていただきたいと思います。

○農業振興課長（井上辰弥君） お答えします。

現在竹チップ等の機械を所有されて、活動されている団体もごございます。そういった活動されている団体の支援も含めて、今後検討していきたいと思っております。

○4番（福本 悟君） 1点について伺います。決算書の171ページの農地費の中の14、使用料及び賃借料の中にあります、備考に国有林借地料が3万4,100円、これが令和元年度から出てきた項目ですけれども、これによって住民に対してメリット、多分これは農地、農道かなというところで、今まで通れなかったところを国より借地して、住民がそこを自由に通れるというところで考えておりますけれども、住民に対しての何かメリット等あれば教えてください。

○農業振興課長（井上辰弥君） お答えします。

こちらは、場所が吉無田の緑の村管理センター前の町道吉無田線から水源方向に向かって行ったところの途中から、干無田方面に向かう道がございまして、途中が、入ってから約900から1キロぐらいで町道に変わります。その間の約900メートルぐらいを国有林の中に農道という形で通っておりまして、地域の皆さんが活用されているわけでごございますけれども、約2.7ヘクタール分ぐらいになりますが、こちらが菊池にごございます熊本森林管理署から、平成30年から使用料を支払ってくださいということで、支払うような形になっております。

○4番（福本 悟君） すみません、確認ですけれども、場所がはっきり頭のほうにまだ理解できておりません。干無田の窯の先になるんですかね。もう少し説明をお願いします。

○農業振興課長（井上辰弥君） 蝸窯の手前になります。正確には緑の村管理センター前の町道吉無田線を水源方向に向かって、ちょうど茶園が切れたぐらいから蝸窯の看板が入り口にあるかと思いますが、そこから入って町道までの約900メートルぐらいの区間の使用料になります。

○議長（池田浩二君） 質疑なしと認めます。

次に、6款、商工費について、説明を求めます。

○商工観光課長（鶴野修一君） 6款、商工費について説明いたします。182、183ページをお願いいたします。6款、1項、1目、商工総務費。支出済額4,424万9,785円です。184、185ページをお願いいたします。主な支出は、28節、繰出金で、緑の村運営事業特別会計繰出金667万円及び緑の村運営事業特別会計繰出金施設整備事業分446万7,586円です。

2目、商工振興費。支出済額526万7,000円です。主な支出は、19節、負担金補助及び交付金で、御船町商工会補助金461万7,000円です。

3目、観光費。支出済額3,831万5,186円です。186、187ページをお願いいたします。主な支出は、13節、委託料で御船町観光ホームページ改修業務委託料299万9,700円です。188、189ページをお願いいたします。同じく13節、委託料で観光案内及び受付業務委託料729万8,164円です。15節、工事請負費、街なかギャラリー南蔵天井修復工事請負費366万1,200円です。190、191ページをお願いいたします。19節、負担金補助及び交付金で御船があーっぱ祭り振興会補助金596万6,000円です。

4目、消費者行政費。支出済額54万2,915円です。主な支出は、1節、報酬で消費者行政相談員報酬52万2,000円です。

7目、プレミアム付商品券事業費。支出済額1,411万9,316円です。192、193ページをお願いいたします。主な支出は、13節、委託料で商品券販売及び換金委託料御船町商工会事務費分270万円及びプレミアム分687万6,500円です。

6款、商工費の説明は以上で終わります。

○議長（池田浩二君） 質疑を行います。6款、商工費について、質疑はありませんか。

○4番（福本 悟君） 2点について伺います。まず1点目ですけれども、成果説明書の80ページ、観光施設等管理事業の中の4番の実績の中に、公園関係の地域管理ということで、ここに5カ所の地域管理とあります。それと決算書の185ページ、観光費の中に報償費として公園管理地区報償金の6カ所、4万円とあります。公園については、すべて町で、この4万円というところを出してある分でしょうか。

○商工観光課長（鶴野修一君） お答えします。

まず、主要成果説明書5カ所となっておりますけれども、決算書に記載しております6カ所が正しい公園数ですので訂正してお詫び申し上げます。

また議員御質問のすべての箇所に4万円払っているのかという質問に対しては、すべて

の箇所にお支払いをしているところです。

○4番（福本 悟君） 今の確認ですけれども、町の公園の管理について、すべての公園に対し4万円を支払っているというところでしょうか。

○商工観光課長（鶴野修一君） お答えします。

説明が少しまじったかなと思いますけれども、ここに記載の公園に対しお支払いをしているということです。

○4番（福本 悟君） それではほかに何か所か、地域で管理されている公園があるというところで認識をしていいでしょうか。

○商工観光課長（鶴野修一君） 議員がおっしゃるように、確かに2カ所ほど地域で管理をされていて、報償金を払っていない小さな公園がございます。また、先般の一般質問でもありましたように、開発行為でできた公園等については支払いをしてございません。

○4番（福本 悟君） 2点目の質疑に入ります。決算書の189ページの備考の一番上になります。ふねまるの運營業務委託料12回派遣ということで、令和元年度の決算では79万7,386円、昨年度の決算を見ましたところ、言葉自体は出てきませんでした。しかし昨年度の決算書の内容をみますと、昨年と比べますと今年が約110万円ほど減額になっています。1年間を通しての契約かなと思いますけれども、これは回数に、委託の出演の回数が減ったというところで、この170万円ぐらい減額になったというところでしょうか。

○商工観光課長（鶴野修一君） お答えします。

このふねまるの運営事業につきましては、御船町のPR等を図るためにかなりの予算をかけてこれまで進めておりました。平成30年度においても200数十万円が計上されていたということです。今回、業務委託また派遣回数等を圧縮しまして、当初約100万円程度で予算を計上しているところです。当初は年間20回の出勤また派遣をすることで契約をしておりましたが、新型コロナの影響で2月、3月に予定されておりましたイベントがすべて中止となってしまいましたので、当初契約から減額、また変更契約をして支払いをしたものです。

○5番（田上英司君） 決算書の189ページの一番上でございます。ONE PIECE（ワンピース）ブルック像の除幕式、メディア等によりますと11月8日、午前11時だったですか、という報道がなされていますが、これは予定どおり、報道のとおり行われるか、行われるとすれ

ば、どの規模で行われるか。ここにノベルティ500個製作と、これは記念品だろうと思うんですが、500人ぐらいは通称ブルック像の除幕式は1,000人規模という話を聞いておりますが、その半分ぐらいの規模にされるのか、それをお尋ねしたい。

○商工観光課長（鶴野修一君） お答えします。

議員がおっしゃるように、像の設置については、熊本県知事の記者会見また新聞報道でリリースがされたということです。本年11月8日、日曜日に決定をしております。像の設置場所については、ふれあい広場内の芝生スペースということになります。御指摘のとおり、今回は新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を踏まえまして、参集範囲というか、募集の定員というものを200名に限定をさせていただいております。また、県内在住者で、かつ事前申込制で行っております。9月18日からホームページで申し込みを受けるということになります。最終的には抽選により決定をいたしますので、ノベルティを500個作っております。これについては、抽選の中で、まず400名を選ばせていただいて、その中の400名にはノベルティを差上げます。また、その残り200名について式典に参加をしていただくということで、残りの100名分については、いろいろな方が式典に来られますので、そういった演者の方とか御協力いただいた方にお配りするということで計画をしております。

○2番（井藤はづき君） 1点お尋ねします。決算書の187ページです。同じところではあるんですけど、委託料が総額で去年より500万円ほど増額していますけれども、その理由を教えてください。

○商工観光課長（鶴野修一君） お答えします。

平成30年度からの委託料ですけれども、ふねまるの運営委託料であったり西往還児童公園の測量設計委託料など、減額されたものもありますので単純な比較はできませんけれども、主な増額の理由としましては、交流センター及び街なかギャラリーの観光案内業務委託と観光ホームページの改修委託によるものだと思います。

○2番（井藤はづき君） 交流センターと街なかギャラリーは観光協会に委託されていると思いますけれども、こちらが町直営だったときはどれほどの経費がかかっていたのか。そのときからどういうふうに変化があったか教えてください。

○商工観光課長（鶴野修一君） お答えします。

まず、公共施設については、直営もしくは指定管理だけしかできないことになっており

ます。ですので、交流センターと街なかギャラリーにつきましては、現在も町直営で行っております。業務委託をしたのは受付案内業務をするスタッフのみの業務委託をしているということです。比較する経費としましては、人件費ということになるかと思えますけれども、平成30年度は非常勤職員5名で運用を行っておりましたので、年間報酬と社会保険料等を合わせて、予算ベースで830万円程度でございました。業務委託に伴ってスタッフ数の見直し等も行いましたので、単純な比較はできませんけれども、令和元年度の業務委託料が730万円ということで、仮に会計年度任用職員、令和2年度から職員をフルタイムで4名雇用した場合については、試算で960万円程度かかりますので、業務委託により経費削減が図られたのかなというところです。

○10番（田上 忍君） 今のところにも関係するんですが、決算書の189ページです。観光案内等受付業務委託とあります。これで729万円ぐらいあるんですが、これは実際には何をやる業務で、それと何人いるのかを教えてください。

○商工観光課長（鶴野修一君） お答えします。

業務内容につきましては、重複しますけれども、交流センターについては恐竜博物館に多くの方が来られます。そこに訪れられる方が交流センターに訪れられますので、その方たちへの観光案内等を行います。また街なかギャラリーについては、貸し館の業務もありますので、貸し館の受付であったり、いろいろなイベントの対応ということとなります。人数につきましては、月曜日の休館日以外は常時開館をしておりますので、常時交流センターに1名、街なかギャラリーに1名いる体制になります。ただ土日等、またイベント等については人数の加配を行いますので、委託の中では4名を入れているところです。

○10番（田上 忍君） ほかでもこうやって委託されていると思うんですけども、ほかの業務に比べてこの金額というのは高いと思われますか、低いと思われますか。

○商工観光課長（鶴野修一君） お答えします。

先ほども井藤議員の質問にもありましたように、単純にこれまで直営だったものと比較すると、必ずしも高いものではないと思いますし、観光協会に委託をしたことで、ただ今スタッフジャンパーであったり民間のノウハウを生かした接遇であったり向上した部分も多くございます。ただ、まだまだ成熟過程という部分も確かにございますので、その辺はしっかり指導してまいりたいと思います。

○10番（田上 忍君） 今私が聞いたかったのは、以前と比べてではなくて、ほかの委託と比

べてということだったのですけれども、それはいいです。

次、ONE PIECE（ワンピース）ブルック像の監視カメラであります。これも170万円くらい上がっておりますが、どのようなシステムになっているのでしょうか。

○商工観光課長（鶴野修一君） 機能ということによろしいのでしょうか。はい。

まず、なぜカメラを設置したかと申しますと、像の設置にあたり熊本県との間で取り交わした覚書において、像の警備は市町村で行うということになっています。この監視カメラは、御船ふれあい広場内の芝生スペースに設置するブルック像に一番近い街路灯を利用して設置をしております。暗視機能があったり録画機能とかはもちろんございます。定点で像の監視をいたします。2週間程度の録画が可能となっております。破損また破壊等の事象があった場合については、カメラの下部にあるハードディスクから記憶媒体を抜き出してパソコンで再生する。もしくは直接テレビをつないで再生するという事で、その事象を確認するという事になっております。

○10番（田上 忍君） 実際設置する場所と、だからその機材等は全部設置する場所に置くのか、それとも例えば役場内のどこかに置いて、何かで結んで、それを録画するのか、その辺はどうなるのですか。

○商工観光課長（鶴野修一君） お答えします。

基本的には、カメラの下にすべてがあります。ボックスからハードディスクからすべてその支柱に付いておりますので、ただ、確認用テレビ等については、商工観光課で保管をするということになります。

○10番（田上 忍君） おおよそのシステム内容はわかりました。いろいろ悪さされないことを願うしかないですね。

最後になりますが、190ページ、ここに御船町観光協会の補助金とあります。これは以前から私はいつも高いのではないかとやってきたんですが、今回もこれだけの決算が上がっております。実際に、では観光協会としては、観光協会は何をやったろう。何かあまり私たちの目に見えないところでいろいろ活動されていると思うんですけど、総会等に出られているから、その辺はわかると思うんですけど、どんなことを観光協会は今やられているのでしょうか。

○商工観光課長（鶴野修一君） まず、観光協会については、第6期御船町総合計画に位置付けた御船町の観光の受入主体として重要な組織であります。将来的な自立を含めて行政と

しては支援をしていくというスタンスではあります。そういう中で、議員の質問のとおり、何をされたかということですが、一番の自主財源の事業としては化石発掘体験事業があります。これにつきましては、令和元年が、体験者が8,164人、平成30年度から1,000人ほど増えております。また体験料についても、平成30年度の490万円程度から530万円程度ということで、確実な歩みを進められております。

また、事業としましては、交流センター内での特産品の販売であったりとか、ふねまるポロシャツやウインドブレーカーなどのアパレル事業、また新酒まつり、恐竜フェスタ、吉無田高原星空観察会など、こういった自主イベントに加えて、東京銀座館また福岡ドーム等での催事に赴き、特産品の販売促進を図っておられます。

○10番（田上 忍君） 先ほども申しました、前任の課長も、とにかく新しい人の流れを作るということで、御船町のギャラリーとか観光交流センターとか恐竜博物館、こういうのを生かして人の流れを作りたいということではなかったかと言われていました。こういうことをやってくれるのが観光協会ではないかと思うんです。そして、御船町としてこれだけお金を出している。ということは、総会等に多分課長は出られていると思うんですけど、御船町はこういうことをやりたいんだよ。あなたたちやりなさいとか、そういう意見をやっているのでしょうか。その辺をお聞かせ願いたいのと、最後に、町長が観光業界にどういうことを期待しているか、それをお聞かせください。

○商工観光課長（鶴野修一君） お答えします。

観光協会は、御船町の観光を進める上で、行政と一体となる両輪になるととらえております。ですので、それぞれの年度ごとの事業計画、また、中長期的な事業計画への中のコンセンサスとして、行政も入らせていただいているところです。とはいえ、決めつけのような、要は下請けのような協会であってはならないのかなとも思っていますので、自主性を重んじながら、活動がしやすいような御支援をさせていただく方針でおります。

○町長（藤木正幸君） 観光協会は私の考えとしては公でもできない、そして民でもできない、そういったできないことではなくて、それをできるということで、中間層という形で観光協会があると思います。お互いの公のいいところを、民のいいところを、うまく付き合わせて、今後の御船町への滞在時間を延ばすために頑張っていっていただきたいと思います。やはりこれは、観光課として、1つのものをずっと続けるのではなくて、やはり進化していかなければいけないと感じております。今度の企業誘致に関しましても、恐らく観光協

会が中心となってPR作業が出てくると思っておりますので、民の力を出す、公の力を出すというふうになっていただきたいと感じております。

○9番（福永 啓君） 187ページ、いさぎに関する経費が出ておりますが、今後のいさぎをどのようにしていくか。それについてお話をお願いいたします。

○商工観光課長（鶴野修一君） お答えします。

御船町認定特産品事業につきましては、平成28年度から取り組んでおります。平成28年度には19品目、平成29年度には8品目、平成30年度には8品目が認定され、現在は23業者35品目を御船ブランドとして観光協会また商工会と連携して認知度向上、また販売促進を行っているところです。

実績としましては、交流センターや華ホテルでの販売に加え、町内外のイベント、催事での展示販売、また御中元や御歳暮などの贈答品としてのパッケージ販売、またふるさと納税返礼品への活用などを行ってまいりました。その結果、徐々にではありますけれども、お土産での利用、また恐竜博物館の来館者に手に取っていただく機会も少しずつではありますが増えてきたと思っております。ただ、それぞれの認定業者の個社ごとの売りに直結するような成果は上がっておらず、御船町といえば御船のいさぎというまでには到底至っていないということも承知しております。

この特産品のブランディング事業については、他の自治体でも取り組まれておられて、また苦戦をしているのも事実ですので、成功事例の研究を行いながら、関係団体の皆様とアイデアを出し合い、また試行錯誤のトライアンドエラーを重ねながら、当面は新規の認定を行わず、現在のラインナップを御船町の町民の方が誇れるような、他町村にお出かけになるときに持って行っていただけるような認知度向上を図っていきたいと思っております。

○9番（福永 啓君） 観光交流センターです、これはさっきも前の議員の方が言われていましたけれども、観光業務委託になる前と観光業務委託になった後と、これは行かれてみればわかると思っておりますけれども、もう全然違いますよね。行ったときに前は何にも、ちょっとあっただけなんだけれども、今はやはり行かれて買いたいというものをそろえて、あそこはお店みたいになっています。非常に変わってきた。これがやはり民の力かなと思うんですが。いさぎです。これに関しましてもいいものがいっぱいそろっているんですが、なかなかそれで売りに上がらないと。これは、協議会とかも開かれているようですので、ぜひ今後とも、いいものがそろっています。ですのでぜひよろしく、町としても御支

援お願いいたしたいと。

それと同じ187ページ、公園管理について幾つか予算が上がっているんですが、私はやはり城山公園、これは何回も言っているんですが、城山公園は御船町の真ん中です。そこですよ。そしてこの城山公園というのは前はやはり御船城跡ですし、甲斐宗運の居城跡ですし、そのような歴史もある公園なんですけど、行っても、宗運のことがちょっとは書いてありますけど、何なのというのがよくわからない。あそこには二の丸もあるんです。神社もあるんです。それを活用とか管理、これが今のままでいいのかなと。何か観光課としても考えていないのか。もしくは活用を、これこそ観光振興にも使えると思いますので、何か課として考えていることはないのですか。管理について、運用。

○商工観光課長（鶴野修一君） お答えします。

公園の管理ということでございますけれども、城山公園に限らず、町民の憩いの場である公園や広場については、普段から適正に管理することが必要ととらえております。特に議員がおっしゃるように城山公園につきましては、御船城主甲斐宗運の城跡ということで、町外からの観光客も訪れるポテンシャルがある場所と承知しております。

現在は、管理ということですが、城内の除草作業を町で年4回から5回、また急斜面である法面の除草を年1回町が行っているところです。私どもが求める管理の方法ということですが、周辺の住民の方が普段から利用していただき、その利用の中で公園に愛着を持っていただいて管理していただくということが理想と考えております。城山公園に限らず、そのほかの公園についてもそういった状況にはまだ至っていないところがあります。いずれにしても、今後この公園がいつもきれいでないと町外の方も町内の方も集まってコミュニティを形成することができないと思いますので、町の対応としては、まずはしっかり適正な管理をしていく。それから住民の皆様方に足を向けていただいて関心を持っていただくことがまず第1点かなと思っています。

また、活用の件ですが、活用については、しっかり甲斐宗運、歴史のファンあたりを取り込むような施策というものをしっかり考えていかなければならないですし、街なかギャラリーの横断的な活用というのも考えられると思いますので、その辺は観光をつかさどる観光協会等とまた計画を練っていきたいと思います。

○9番（福永 啓君） 城山公園ですね、これは私たちが子どもの頃はあそこにみんな集まっていたんですよ。花が咲いていて。もう御船町の皆さんあそこで必ず写真撮っています、

私たちの年代のときには。そういう場所だったんです。それがどんどん廃れていくのを見ているのがやはりつらいところもありますので、ポテンシャルはあると思いますから、ぜひ活用計画等を町としても検討していただくよう、強く要望いたします。

○議長（池田浩二君） 質疑なしと認めます。

お諮りします。ここで10分程度休憩を取りたいと思います。御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（池田浩二君） 3時30分まで休憩したいと思います。

~~~~~ ○ ~~~~~

午後3時21分 休 憩

午後3時30分 再 開

~~~~~ ○ ~~~~~

○議長（池田浩二君） 休憩前に引き続き、会議を再開します。

次に、7款、土木費について説明を求めます。

○建設課長（野口壮一君） 7款、土木費について説明をいたします。決算書の192ページをお願いします。7款、土木費。1項、土木管理費。1目、土木総務費。支出済額1億4,889万6,962円。主な支出は、人件費と8節、報償費。地域での除草作業活動に対する町道等管理報償金201万2,000円、195ページをお願いします。13節、委託費、九州横断自動車道工事用道路足水地区に係る用地測量業務2,739万2,237円、19節、負担金補助及び交付金の復興基金を活用した被災宅地復旧支援事業交付金8,162万4,000円を支出しております。

同じく194ページ、2項、道路橋梁費。196ページをお願いします。1目、道路維持費。支出済額2,161万3,492円です。主なものは、11節、町道維持修繕費819万648円、役場周辺水路に係る土砂しゅんせつ費347万6,000円、13節、町道除草作業委託料366万6,288円、16節、原材料費の町道維持補修材料費374万5,108円を支出しております。

2目、道路新設改良費。支出済額2億9,262万764円です。199ページをお願いします。13節、委託費、御船インター周辺小坂八竜地区道路改良に伴う不動産鑑定評価業務、道路測量業務、地質調査業務、用地測量業務を合わせた委託費6,987万9,794円。15節、工事請負費。支出済額1億9,513万9,622円です。主なものは、同じく御船インター周辺道路改良工事5件に係る前払金1億7,386万4,000円の支出をしております。

200ページをお願いします。2目、道路新設改良費繰越明許分になります。支出済額

1,449万4,162円です。主なものは13節、委託料、御船インター周辺小坂八竜地区道路改良計画に係る概略設計費453万6,000円、15節、工事請負費、道路改良工事5件、995万8,162円を支出しております。

3目、橋梁維持費。支出済額12万2,060円。主なものは、13節、委託費7万8,720円。橋梁放送システム装置保守点検料となっております。

4目、橋梁新設改良費。支出済額2,987万1,272円です。203ページをお願いします。主なものは13節、委託料、四宮橋架替え工事に関する用地購入に係る不動産鑑定評価業務、取付道路用地測量設計業務委託、建物事前調査業務委託を合わせ661万7,903円及び町内に有する118橋に係る橋梁長寿命化修繕計画策定委託料726万円を支出しております。15節、工事請負費、四宮橋下部工（A1）工事前払金1,500万円を支出します。令和2年度へ2,800万円を繰り越しをしております。同じく4目、橋梁新設改良費繰越明許分です。支出済額740万136円です。主なものは6橋に係る橋梁定期点検近接目視業務委託となっております。

次に、3項、河川費。1目、河川総務費。支出済額707万1,164円です。主なものは、13節、委託料、御船川河川10カ所の樋門管理委託料245万7,722円です。財源はすべて国庫支出金となっております。小坂・滝川樋管の2カ所に係る内水排除用仮設ポンプ設置業務委託332万4,342円です。

204ページをお願いします。2目、砂防費。支出済額1,203万8,800円。主なものは、19節、負担金補助及び交付金の熊本県が支出された小坂地区での急傾斜地崩壊対策事業負担金902万5,000円と、土砂災害特別区域からの家屋移転に対する被災住宅再建支援事業補助金300万円を支出しております。

4項、都市計画費です。1目、都市計画総務費。支出済額2,809万1,842円です。207ページをお願いします。主なものは、13節、委託料のふれあい広場維持管理等委託料179万1,247円、19節、負担金補助及び交付金、木造住宅耐震改修等補助金100万円、危険ブロック塀安全確保支援事業補助金127万4,000円を支出しております。

同じく1目、都市計画総務費繰越明許。支出済額5,464万2,190円です。主なものは、13節、委託料、御船インター周辺の大型商業施設誘致に係る交通解析業務委託3,153万2,515円、御船町マスタープラン改定及び用途地域見直し業務委託2,310万9,675円を支出しております。

○復興課長（島田誠也君） 同じく206、207ページになります。5項、住宅費について説明を申し上げます。1目、住宅管理費。支出済額9,595万6,118円です。209ページをお願いします。主な支出は、職員の人件費のほか、13節、委託料、木造仮設利活用事業実施設計委託料4団地分、211ページをお願いします。1,796万2,024円、同じく、13節、委託料、町営住宅等長寿命化計画策定委託料583万円、15節、工事請負費、単独住宅西木倉団地屋外整備工事975万1,470円と、単独住宅田代東部団地屋外設備等改修工事1,034万8,000円です。

3目、災害公営住宅建設費。支出済額291万4,297円です。主な支出は、19節、負担金補助及び交付金で、災害公営住宅建設に伴う下水道受益者負担金241万7,550円です。

212、213ページをお願いします。3目、災害公営住宅建設費繰越明許分です。支出済額10億2,279万7,655円です。支出額のすべてが17節、公有財産購入費で、災害公営住宅上高野団地の用地購入費と一丁目第1団地、一丁目第2団地、旭町団地、上高野団地の建物等の購入費となります。同じく3目、災害公営住宅建設費事故繰越分になります。支出済額13億2,927万4,843円です。支出額のすべてが、17節、公有財産購入費災害公営住宅古閑迫団地、木倉団地、小坂団地、一丁目第1団地の建物等購入費となります。

4目、仮設住宅管理費。支出済額1,650万2,979円です。主な支出は、11節、需用費、応急仮設住宅光熱水費342万7,009円、及び215ページをお願いします。13節、委託料、応急仮設住宅合併浄化槽管理委託料770万747円です。

以上で、5項、住宅費の説明を終わります。

○建設課長（野口壮一君） 同じく214ページです。6項、公共下水道費。1目、下水道費。

支出済額2億4,509万4,000円です。28節、繰出金、公共下水道事業特別会計の繰出金となります。

以上で、7款、土木費の説明を終わります。

○議長（池田浩二君） 質疑を行います。7款、土木費について質疑はありませんか。

○2番（井藤はづき君） 1点です。193ページです。下のほうに賃金が120万円ほど予算が付いていましたけれども、すべて不用額となっていますけれども、この説明をお願いします。

○農業振興課長（井上辰弥君） お答えします。

こちらにつきましては、被災宅地復旧事業それと私道復旧事業、こちらは地籍調査係で事業を行っておりますが、当初予算計上時におきましては、非常勤職員を1名雇用する予定としておりましたが、職員2名で対応するとなりましたもので、非常勤職員を雇用して

なかったためとなっております。

○2番（井藤はづき君） 地籍調査のための非常勤職員を雇う予定だったけれども、雇わなかった。

○農業振興課長（井上辰弥君） 私道復旧と被災宅地復旧事業、こちらを地籍調査係で対応しております。こちらの事業に係る非常勤職員を雇用する予定としておりましたが、職員2名で対応するということになりましたもので、非常勤職員を雇用していないということになります。

○10番（田上 忍君） 201ページ、ここに用地購入費がありますが、この場所と用途を教えてください。

○建設課長（野口壮一君） 場所が、町道辺田見役場線の用地購入費ということですか。はい。場所は、辺田見にホームワイドがありますけど、その裏手に財務局の用地がありました。財務局で用地の測量をかけられたところ、一部が町道敷きまで入っていると。逆に言えば、町道が財務局用地に犯していたということで、そこで1年ほど前から協議をし始めて、その分を町で町道としてそこを必要ということで、今回買収をしたという経緯であります。

○10番（田上 忍君） わかりました。次、209ページ、この下のほうにイノシシ対策委託料とありますが、この説明をお願いします。

○復興課長（島田誠也君） お答えします。

209ページのイノシシ対策委託料については、町営住宅の辻団地それから東禅寺団地において、団地内にイノシシが出るという入居者の方からの通報がございました。入居者の方も非常に不安がっておられるということで、何らかの対策をとということで、住宅係としましては、シルバー人材センターに委託をしまして、まずは隠れ場となる茂みをなくすために、周辺の草刈作業を行いました。それとともに、敷地周囲をロープと支柱で囲いまして、そのロープに忌避剤とありますが、イノシシが嫌うようなにおいを出す薬剤をつるして、進入防止対策というものを行ったということになります。

○10番（田上 忍君） よければその薬剤はどういうものかというのと、効果はどうだったかというのを教えてください。

○復興課長（島田誠也君） 薬剤については、イノシシの嫌うにおいが出る液体ということで、たしか商品名がしし防か何かいう商品で、白いこの中の先に液体が入っていて、それを等間隔にずっとつるしていくという資材になっています。

効果についてですけれども、それをつけてからはしばらくの間はイノシシの目撃情報とかは寄せられてはなかったのですが、最近になりまして団地内でイノシシが掘った跡があるとか、そういった情報が寄せられています。入居者の方にも、イノシシの餌になるようなものを外に置かないとか、あとはごみ置き場あたりの清掃をきちっとしていただくようにとか、そういった周知で対応しているところです。

○10番（田上 忍君） わかりました。そうやって新しいものを使ってイノシシ対策をやられているということで、そういうもので本当に効果があったのであれば、また皆さんにお知らせ願えればと思います。あちらこちらでイノシシ対策は皆さん困っていると思いますので。

最後の質問になります。成果説明書の101ページです。町営住宅の解体ということで、今回解体して全部なくなったところがあるのかということと、今後の解体計画についてお願いします。

○復興課長（島田誠也君） お答えします。

今回二丁目団地と五丁目団地、合計4戸を解体したところです。今回の解体で更地となったという団地はございません。今後、今住み替えについて御協力をいただいております。今年度、来年度にかけて、今のところ18戸程度の解体を予定しているところです。予定どおり解体が進めば、来年度末には3団地ほど用途廃止ができるのではないかとこのころで進めているところです。今後も住み替え交渉を進めていきたいと思っております。

○10番（田上 忍君） そうしますと、今後は更地となった土地の利活用というか、こういうのも考えていかなければいけないんですが、こっちのほうも検討には入っているのですか。

○復興課長（島田誠也君） まずは、行政財産として、住宅係として、まずそういったところを活用していくところがないかというところ。当然建て替えとか、そういった話になってくるのかなというところで、係内では話をしているところですが、もしいろいろな場所によってはかなり道の問題とか、なかなか活用が難しいところにつきましては、町全体での活用、それがなければ恐らく民間等へ売却も含めて検討していくことになろうかと思っております。

○3番（宮川一幸君） 成果説明書の94ページをお願いします。防災安全交付金事業橋梁長寿命化計画ですね、この中で実績の中で118橋のうちレベル2以上の判定となった78を抽出して、各橋の更新の概算の費用を算出しましたとありますが、78橋を修繕するのにどのく

らの予算が算出されたかお教えてください。よろしく申し上げます。

○建設課長（野口壮一君） 今、議員がおっしゃったように、御船町内に118橋の橋があります。5カ年をかけて調査をしたものを取りまとめて、こういう概算費用を算出したものを長寿命化計画として業務委託をしております。その中で、今後レベル2以上です。レベル1はもう全然手を付けなくてもいいんですけど、レベル2以上の判定となった78橋を抽出して、今後10年間の間に修繕を行っていくということになります。事業費として、今概算で出ているのは10億8,000万円です。かなり高い数値になっているんですけど、やはり仮設費が高いということで、足場を組んだりとかして補修をしていくという形になりますので、若干高めの計画ということになっております。

○9番（福永 啓君） 207ページ、ふれあい公園に関する管理の費用が出ておりますが、来年以降ブルック像も設置されまして、中に建物も建ちまして、総合的な利用、総合的な管理の必要性が出てくるかなとは思いますが、今後ふれあい公園の管理はこういうふうに単費で一つ一つやっていくのか、それとも何か総合的に管理委託とかいうのを考えているのか、ふれあい公園の管理の今後のことについて、どのように計画しているかをお聞きいたします。

○建設課長（野口壮一君） 現状のふれあい広場等管理としてトイレ等の清掃を週に2回、それから公園内の除草を年に4回実施をしております。そのほか遊具点検を行っております。今の状態で万全かといったらまだ完全ではないということで、今シルバー人材センターに業務委託を出しているんですけど、それでも伸びた分については職員で切ったりとかして今対応をしているところであります。

今後、ふれあい広場については、先般12月議会の全員協議会のときに観光課からお話があったものもありますが、ふれあい広場にありましたみんなの家を今移築をされております。これが完成した後に、今後さらなる交流人口の拡大に資する観光拠点としてふれあい広場を位置付けていきたいということで計画を進めております。

そこには、ここを運営する指定管理等の業者が相手があるわけですが、12月の全協のときにも一般社団法人の御船町観光協会を指定管理ということで計画をしていますというお話だったかなと思います。そういう観光の拠点として担ってもらおう分、それから今言いました公園内の管理も一緒に担ってもらおうというところで進めていきたいと思っております。今の状態よりもよくなるように、その辺を今度、今後の指定管理あたりに担っていた

だきたいということで進めていきます。

○9番（福永 啓君） やはり今後拠点事業としてあそこを作っていくわけですから、単に経費削減経費削減でもよくないと思うんです。実際に民間に管理に出したら観光交流センターもごろっと変わるじゃないですか。本当に総合的にそれを拠点に一番資するような形の計画をお願いしたいと思います。

次に209ページ、さっきも田上議員からありましたけど、加えてお聞きいたします。今、老朽化した住宅のうち、用途廃止を予定しているところに今現在何戸、何名の方が住んでいらっしゃるのか、そして私がしつこく言っていますよね。本当に昭和の戦後すぐに建てられた超老朽化した住宅です。台風のときに心配だったですよね。わかっています。そこに今現在は何世帯、何名の方がお住まいになっているのか、お願いいたします。

○復興課長（島田誠也君） お答えします。

まず、御心配されている木造住宅の老朽化した築50年を経過した住宅の入居状況ですが、7団地、34戸がございまして、そのうち入居が6団地に20戸になっております。残り14戸は空き家となっております。入居中20戸のうち、現時点で住み替えの了承をいただいている戸数が5戸ありますので、住み替えが完了しますと、あと15戸が入居中のまま残るといいう形になります。

先ほども申しましたが、今年度、来年度にかけて18戸を解体していくということになります。残る15戸についても、住み替えをできるだけ速やかに行っていただけるように交渉を続けていきたいと考えております。

○9番（福永 啓君） 係のみではきついですよ。ですから、本当にこれは生活再建ですから、協議会なり何なり、民生委員の方も手伝うとおっしゃっています。区長も手伝うとおっしゃっておりますので、私も何回も言いますが、抱え込まないで、ぜひ一緒にやっていたきたいと思います。

次、これで最後です。216ページ、土木費から下水道への繰出金が出ておまして、これが増えているんですけど。まず企画財政課長にお聞きしたいんですけど、一般会計から特別会計にこうやって繰り出されているお金というのは、ほかにどのようなものがあって、幾らぐらいあるのか。そして、法律で繰り入れることが想定されている法定内繰入は除いて、一般会計から純粋に町の単費として持ち出して、特別会計に繰り出しているお金というのはどのようなものがあるのか、教えていただけますか。

○企画財政課長（坂本幸喜君） お答えします。

まず、一般会計のほかに特別会計、水道事業を含めて7会計ございます。そのうち、昔は国保特別会計とか水道会計も法定外ということで、町から繰り出していましたけれども、その分に関しては今は繰り出していません。今現在、緑の村特別会計、大体1,000万円ぐらいです。それと情報特別会計に800万円と、今ここにありますが、下水道特別会計に2億4,500万円と。ただ、この2億4,500万円のうち、交付税として措置されますので、その分が約1億円程度ありますので、残りの分が法定外ということで、1億5,000万円程度が一般会計から純粋に繰り出している繰出金ということになります。

○9番（福永 啓君） としますと、この緑の村が1,000万円です。情報特別会計が800万円です。下水道会計だけは、そういう法定内というか、御船町の単費、純粋な持ち出しというのが、毎年1億5,000万円ずつ行われているということですね。そうですね。だからそれがなければ御船町は、これはあくまで純粋に御船町の単費ですね。

○企画財政課長（坂本幸喜君） もう1回申し上げます。緑の村が1,000万円程度です。それと情報特別会計が800万円です。下水道特別会計が1億5,000万円程度が純粋な町からの持ち出しということになります。

○9番（福永 啓君） 見たら毎年ですね。一般質問でも何回も出しているんですけど、この1億5,000万円の繰り出しというのは、これはあくまでも、公共下水道の恩恵に浴している人のためだけの繰り出しともなりますので、これに関して、今後どのように考えているのか、課長、最後によろしいですか。

○環境保全課長（緒方良成君） お答えします。

確かにこの1億4,500万円、かなりの額になっております。ただ、今公債費としまして、この起債の償還が元利合わせて3億円あります。これが非常にこの予算の中でも圧迫している状況にありますので、これがあと3年、4年ぐらいすると減額に転じていくということではあります。また使用料も1億3,000万円ほどであります。今後人口減少等もありませんが、この使用料というのは、ここ4～5年はほぼ変わらないのかなと。こういう使用料と大きな償還等もありますので、この事業の最適化というのを、もう一度これは見つめ直す必要もあるとは思っております。

○4番（福本 悟君） 1点について伺います。決算書の207ページの中段になります。都市計画費の中の16節の原材料費の中に、中心後退部分の資材代ということで、1点だけ伺わ

させていただきます。決算が2万9,810円出ています。この事業に対して、町民にどのように周知をされて何件の申請があって、この2万9,810円となったのか伺わせていただきます。

○建設課長（野口壮一君） 都市計画区域内において家屋を建てる場合に、中心後退が生じてきます。都市計画区域内の建築確認申請というのは、必ず町を經由して県に進達をしていくという形になります。そのときに中心後退をされて、ブロック塀あたりで塀を造られていくというところになれば、住民への周知の方法としては、建築確認申請が上がった方々に対してこういう町から材料支給をしていますよということで周知を図っているというところになります。

全体で何件かということですが、令和元年度の実績としては、この2万9,810円というのは2件分に相当をしております。

○4番（福本 悟君） 最後の確認をさせていただきます。実績としては2件の申請があって、2万9,810円ということですがけれども、町内を回ってみますと、点々この中心後退でまだそのままのところが見受けられますので、この令和元年度、2件以外に申請があって、それを繰り越されているというのではないのでしょうか。

○建設課長（野口壮一君） 先ほど言いましたように、建築確認申請のときに周知をしているわけですが、申請があつていて、未施工のところは15件ほどあります。このところについては随時、一挙にはできないと思っておりますけれども、今後の予算編成の中で対応をしていきたいと考えております。

○議長（池田浩二君） 質疑なしと認めます。

次に、8款、消防費について説明を求めます。

○総務課長（藤野浩之君） 続きまして、8款、消防費について御説明をいたします。決算書214、215ページをお願いいたします。8款、消防費。1項、消防費。1目、非常備消防費。支出済額4,554万8,944円です。主なものとしまして、次のページをお願いいたします。報酬です。これは消防団員報酬関係になります。843万3,800円です。その他職員の給与等になります。11節、需用費。主なものは、消防団員の活動用装備費420万1,632円です。そのほか18節、備品購入費、ここに付きましても主なものは、消防団員の活動服の購入費786万6,155円となります。19節、負担金補助及び交付金、主なものとしまして消防団員等の福祉共済負担金が112万5,000円、それと消防等事務に関する負担金ということで975万

9,515円となります。次のページをお願いいたします。同じく19節の中で、消防団交付金として403万円となっております。

2目、消防施設費。支出済額6,012万3,468円です。主なものとしまして、13節、委託料、地域防災拠点施設建築工事設計業務委託ということで138万6,000円となっております。それと15節の工事請負費、消防施設整備工事請負費701万1,317円。それと地域防災拠点施設建築工事請負費4,421万9,883円となっております。同じく2目で、消防施設費繰越明許になります。支出済額1億765万9,241円です。主なものは、13節、委託料、地域防災拠点施設建築工事の設計業務委託料ということで254万円、それと工事請負費です。同じく地域防災拠点施設整備建築工事の請負費ということで8,571万6,183円、それと消防施設整備工事請負費ということで1,940万3,058円となっております。

○建設課長（野口壮一君） 同じく218ページです。3目、水防費。支出済額119万3,232円です。主なものは、11節、需用費、水防計画に掲げられている水防資機材補充の購入費61万5,972円、221ページをお願いいたします。同じく11節、需用費、落合及び茶屋本水防倉庫修繕費33万8,800円ということになっております。

○総務課長（藤野浩之君） 同じく220、221ページです。4目、災害対策費です。支出済額2,248万5,752円です。主なものとしまして、まず職員手当、これは時間外手当となっております。477万2,937円です。それと需用費、防災訓練用消耗品費ということで124万5,596円、それとコロナ対策の消耗品費として158万4,000円とあります。12節、役務費につきましては、主なものとしまして戸別受信機の設置手数料199万4,300円、それと災害対策費保険料107万3,710円となっております。13節、委託料につきましては、防災備蓄センターの設計委託料ということで66万円になります。次のページをお願いいたします。15節、工事請負費です。防災備蓄センターの工事請負費403万3,826円です。

4目、災害対策費繰越明許であります。支出済額3,046万5,914円です。主なものとしまして、委託料、防災諸計画作成委託料801万3,600円となります。それと15節、工事請負費、防災備蓄センター工事請負費2,135万2,314円です。

5目、常備消防費。支出済額2億6,291万7,000円です。主なものは、19節の負担金補助及び交付金ということで、上益城消防組合の負担金ということで2億6,291万7,000円を支出しております。

以上、8款の説明を終わります。

○議長（池田浩二君） 質疑を行います。8款、消防費について質疑はありませんか。

○10番（田上 忍君） 成果説明書の107ページです。防災無線の関係ですけれども、ここで戸別受信機の手数料ということで金額が出ていますが、何台設置されて、この年度末にあと設置が未完だったのが何件あるかというのをまず教えてください。

○総務課長（藤野浩之君） お答えいたします。

令和元年度において、戸別受信機の申請があった件数としましては、174件の申請がありました。その中で、設置できた件数としまして154件が設置をできています。残りの20件につきましては年度内に設置ができなかったということになっております。その設置できなかった理由としましては、申請者が長期入院されているということ、それとまた施設に入所されたということ、連絡がとれないという方、それと話し合いをしたが、保留しますという方と、もうやらないということで20件の方がまだ申請があって設置ができてないということになっております。

○10番（田上 忍君） これで戸別受信機が設置されたことで、ほぼ町民の皆さん全部に防災無線が聞こえるようになったかと思えます。

この中で、まずこの防災無線の流す内容について、どのような運用方法になっているのかについて、総務課長に聞きたいのと、あとこの間の台風10号のときの避難勧告解除のときに、メールでは解除されましたと来たけれども、防災無線では避難所開設されましたというのが流れた。だからどういう運用方法をしていたのに、こういう間違いがどうして起こったのかについて、説明をお願いします。そしてこの無線を聞いたときに、町長はどう思われたか、そこもお願いします。

○総務課長（藤野浩之君） 防災無線につきましては、防災無線の運用規程がありますので、それに基づいて運用を行っているということになります。防災無線を発する場合は決裁をとって防災無線を使用する、情報を流すということになります。今回、防災無線を使って避難所解除の連絡でありました。携帯電話等メール等においては解除ということになりましたが、防災無線においては避難所開設の防災無線が流れてしまったということです。これは事前に録音をして流すという方法をとっております。それで担当職員が、単純に言うところと間違えたところ、解除の放送をするところを開設の防災無線を流してしまったということで、町民の皆さんには大変御迷惑と御心配をおかけしたということでお詫び申し上げます。

○町長（藤木正幸君） 今回の件、防災行政無線が流れたのと同時に私の携帯電話はずっと鳴

り続けたということでした。すぐさま総務課に行って、まず修正をさせていただいて、事情を聞いたときに、やはり今総務課長が言ったように、単純に録音式になっています。録音した場所のクリックの間違いだったということでした。やはりここは気合いが入ってなかったと言わざるを得ないと思っております。今後、そういったことがないように。やはり1人でしてしまったというところがありますので、必ず複数で行くような対策等を今後は考えていって、こういったことがないようにしていきたいと思えます。

○10番（田上 忍君） 何というのか、危機管理体制が甘いんじゃないかと思ったところです。そして、今回の台風10号の接近のときには、ちょうど全員協議会もあっていました。その全員協議会でも議員が聞かなければ、今避難所がどういうふうになっていくよとか、多分職員の方は朝会議をされて、これからどんなことになっていくというのは理解されていたと思うんですけども議員は全然そういうのは聞いていません。だから、そういうところでも、まず第一に、一番みんなが聞きたいところ、台風10号のための避難所開設がどうなるのかとか、そういうところを、まずああいうところでも一番に報告してほしいなと思ったところです。

危機管理体制、甘いとは思いますが、どうですか。

○総務課長（藤野浩之君） 危機管理体制、十分とっていく必要はあるとは思えます。今回の反省を踏まえまして、さらに充実をさせていきたいと思えますので、よろしく願いいたします。

○9番（福永 啓君） 同じく220、221ページです。成果説明書だったら107番ですが、今現在、戸別受信機は町は何台保有していらっしゃるのでしょうか。付けているもの、プラス予備にとっているもので、今町が保有している台数、これは何台かわかりますか。

○総務課長（藤野浩之君） お答えいたします。

防災無線の整備に当たりまして、戸別受信機は1,300台保有をしておりました。そして現在の保有台数としましては約700台を保有しております。したがって、約600台が各家庭で戸別受信機として設置をされたということになります。

○9番（福永 啓君） コロナ対策でもうちょっと戸別受信機の対象者を増やしましたよね。それで、また新たに何か戸別受信機を買いそろえたとか増やしたとかいうことはなかったんでしょうか。

○総務課長（藤野浩之君） 改めて戸別受信機を購入したという経緯はございません。今回コ

ロナ対策でやっておりますけれども、それについての申請が今119件上がっておりますので、そちらも今設置を進めているところであります。

○9番（福永 啓君） わかりました。同じくその防災無線ですが、電話確認です、これも大分町内に浸透してきた部分があるかなと思います。あとメールの登録件数、前は少しだったですよ。これも若干増えてきたかなという印象なんです、今現在、例えばどれぐらい電話確認の件数があったのかという件数は把握されていますか。それとメール登録者はどれぐらい増えたかというところは把握されていますか。

○総務課長（藤野浩之君） お答えいたします。

防災無線がなかなか聞きとりにくいという声も随分聞いておりましたので、いろいろな方法で防災無線の内容をお伝えするということで考えておりました。その中で電話による確認ということで、これも町民の皆さんに周知をしたところです。特に広報みふねには一番わかりやすいところに書いております。

それで、まず令和元年度につきましては326件の電話の問い合わせがっております。今年度、半年ですけれども973件の電話問い合わせがっております。だからあとこの倍ぐらいは出てくるのかなということで、電話による問い合わせというのは相当浸透してきたのかなということで、この辺は大分私たちとしてはよかった部分かなと思っています。

それと、メールの登録者数です。ここは極端に増えているということではありませんが、現在308件の登録がっているというところで、これは少しずつというところになるかと思えます。

○9番（福永 啓君） 半年で去年の3倍と、これは大変効果があったかなと。ある意味動く、携帯できる戸別受信機ですからね、携帯電話は、そうなりますので。

それと、次お聞きします。223ページ、これはちょっとわからなかったのですが、防災備蓄センターの設計費及び工事請負費、これが2つ何か同じ文句で並んでいるんですが、これについて、どうしてこういう記載になっているのか、2カ所造ったのかどうか。お願いします。

○総務課長（藤野浩之君） 防災備蓄センターですけれども、備蓄センターにつきましては繰越工事ということで、平成30年度から令和元年度に繰り越したという工事になります。そして、令和元年度に工事を行ったところ、元年度において基礎の部分が地盤が軟弱であったということで、地盤改良を行う必要があったため、令和元年度に予算化をしまして地盤

の改良を行った上で建築を行ったということで、現年度の予算と繰越予算という形で工事費が上がってきております。

○2番（井藤はづき君） 1点だけお尋ねします。災害対策費の中で、備蓄品は令和元年度では何をどれだけ整備されたか。それは備蓄計画の中で何割ほどの整備ができたのかということをお尋ねします。

○総務課長（藤野浩之君） お答えいたします。

今回の備蓄品につきましては、飲料水、水を購入をいただいております。

割合としては、まだ把握はしておりませんが、今回は飲料水の備蓄品ということで飲料水を準備をしたところです。

○2番（井藤はづき君） パーセンテージはわからないということなんですけど、数量はわかりますか。

○総務課長（藤野浩之君） 備蓄用の保存水ということで、500ミリリットルの1箱24本入りを84ケース購入しております。

○4番（福本 悟君） 1点について質疑を行います。成果説明書の105ページになります。消防設備等の充実強化事業というところで、実績に、今回の消防団員の作業服が387人分、金額で、備品を見ますと178万3,000円ほど上がってきております。特に聞きたいところが、消防団には通常一般の消防団員と機能別消防団がございますので、災害時には機能別消防団も現場に行くかと思えます。今般のこの購入については、作業服は消防団以外の機能別消防団にも補充をしてあるのでしょうか。

○総務課長（藤野浩之君） 今回につきましては、消防団員のみ活動服ということになっております。

○4番（福本 悟君） それでは、機能別消防団員の非常時のときの作業服といいますか、それはどのようになっていますでしょうか。

○総務課長（藤野浩之君） お答えいたします。

機能別消防団員の安全を確保する必要は当然あるかと思えます。その中で、現在の消防団員が使っていた活動服がまだ使用できる活動服もありますので、その活動服を1回役場のほうに、使用できるものは今回回収を行っております。その中でまた使えるものを選別しまして、機能別消防団に支給できればと考えております。機能別消防団員は約120名程度今現在おられますので、その方たちのためにも活動服が使用できるものについてはそうい

った形で整備ができればと考えております。

○4番（福本 悟君） ただ今課長から答弁をいただきました。現在のところは、この活動服については消防団員のみというところで回答いただきました。機能別についても、いち早く補充をしていただければと思います。

○7番（森田優二君） 217ページに備品購入費があります。また、次の219ページにも備品購入ということでもありますけれども、簡単でいいです。217ページの備品はどういったものか、次のページはどういったものかをお願いします。

○総務課長（藤野浩之君） お答えいたします。

まず、217ページの備品購入費につきましては、これは消防団の団旗を8分団分購入をしております。それと219ページの備品購入ということで、これは消防団の格納ホース、ホースを格納する格納枠です。それと、これは競技用の操法とかするときの水槽を用意しております。それと、背負い式の消火するジェットシューターとかいう商品名で言っておりますけれども、それを購入しております。

○議長（池田浩二君） 質疑なしと認めます。

お諮りします。本日の会議はこれで延会したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（池田浩二君） 異議なしと認めます。

したがって、本日はこれで延会します。

~~~~~ ○ ~~~~~

午後4時30分 延 会